

文部科学大臣、全国スポーツ推進委員連合表彰受賞者

文部科学大臣表彰 (計41名)	和田 正 京丹後市 藤井 博志 京都市	岸上 吉治 南丹 平成4年度(3名)
昭和57年度(3名)	平成22年度(2名)	市橋 国男 京都市
中川 満治 中丹 櫻井 繁造 京都市 高木 茂 南丹	清水 桂子 宇治市 田中 文博 京都市	小林 清和 山城 岡部 一郎 中丹
昭和62年度(3名)	平成23年度(2名)	平成5年度(3名)
小牧 敏良 丹後 藤田 昭夫 京都市 黒田清太郎 京都市	川邊 昌伸 京都市 西村 禮子 亀岡市	早田 一一 京都市 澤田 征信 京都市 野間 暉生 中丹
平成4年度(3名)	平成24年度(2名)	平成6年度(3名)
馬場 友治 山城 櫻井 裕 中丹 山下 正則 京都市	栗田 善嗣 井手町 原島 源一 京都市	辻村 富士男 山城 岩崎 靖信 京都市 山本 暎介 京都市
平成7年度(3名)	功労者表彰 (計107名)	平成7年度(3名)
井上 陽男 山城 杉原 幸雄 京都市 坂本 憲三 京都市	昭和56年度(2名)	平成8年度(4名)
平成9年度(3名)	藪内 治 山城 杉原 幸雄 京都市 植村 基 京都市	川隅 富士夫 南丹 森本 豊 山城 飯野 昭則 京都市
小薮 忠雄 与謝 道下 善一 京都市 小林 清和 京都市	昭和58年度(2名)	平成9年度(4名)
平成12年度(2名)	小泉 達夫 乙訓 佛円 清 京都市 小牧 敏良 丹後	八木 信一 京都市 齋藤 勝 京都市 畑 武志 山城 堀 義一 中丹
川隅富士夫 南丹 岩崎 靖信 京都市	昭和59年度(2名)	平成10年度(4名)
平成13年度(2名)	藤田 昭夫 京都市 高橋 昭治 中丹	高橋 保夫 京都市 吉田 昌功 京都市 井上 利一 京都市 藤田 英夫 乙訓
宮川 重和 京都市 奥西 弘昌 山城町	昭和60年度(2名)	平成11年度(4名)
平成14年度(2名)	馬場 友治 山城 黒田 清太郎 京都市	西村 宏 山城 小林 和好 南丹 井上 清親 京都市 伊藤 光盛 与謝
澤田 征信 京都市 藤田 英夫 向日市	昭和61年度(2名)	平成12年度(4名)
平成15年度(2名)	藤原 清一 中丹 赤木 貞夫 京都市	岸本 進 京都市 小川原 繁 京都市 市川 紀和 山城 山崎 愛次郎 与謝
飯野 昭則 京都市 西村 宏 宇治市	昭和62年度(3名)	平成13年度(4名)
平成16年度(2名)	富田 一成 乙訓 野口 次良 京都市 武田 勲 北桑田	田中 正勝 京都市 菊池 良雄 京都市 奥西 康人 山城 西村 禮子 南丹
吉田 昌功 京都市 市川 紀和 宇治市	昭和63年度(3名)	平成14年度(4名)
平成17年度(2名)	飛田 重三 山城 山下 正則 京都市	伊藤 快宏 京都市 村山 太三 日吉町
船口 三郎 京都市 辻川 直行 宇治市	平成元年度(3名)	
平成18年度(2名)	木村 隆一 京都市 井上 陽男 山城 小薮 忠雄 与謝	
田中 正勝 京都市 森本 豊 精華町	平成2年度(3名)	
平成19年度(2名)	坂本 憲三 京都市 道下 善一 京都市 櫻井 裕 中丹	
菊池 良雄 京都市 山崎 愛次郎 与謝野町	平成3年度(3名)	
平成20年度(2名)	宮川 重和 京都市 奥西 弘昌 山城	
小川原 繁 京都市 山本 廣治 京丹後市		
平成21年度(2名)		

和田 正	野田川町	木村 勝	木津川市	山崎 愛次郎	与謝野町
山本 廣治	峰山町	福井 和代	京都市	平成20年度（7名）	
平成15年度（4名）		勤続30年表彰 （計60名）		堀田 寿美雄	京都市
坂井 保	京北町	平成7年度（2名）		田中 新二	京都市
藤井 博志	京都市	平成9年度（1名）		川邊 昌伸	京都市
榎木 正	宇治田原町	矢野 千枝子	丹後	森本 豊	精華町
丸山 史郎	丹後町	岩崎 昭広	京都市	木野 正男	南山城村
平成16年度（4名）		平成11年度（4名）		井尾 幸	南山城村
辻川 直行	宇治市	奥西 弘昌	山城	辻田 修作	南山城村
森田 健男	亀岡市	平成12年度（2名）		平成21年度（3名）	
梅本 徳夫	舞鶴市	坂本 憲三	京都市	小川原 繁	京都市
桐村 憲昭	宮津市	山下 正則	京都市	山本 信哉	京都市
平成17年度（4名）		山村 英次	京都市	久米川 能久	京都市
三好 喜勝	長岡京市	川隅 富士夫	南丹	平成22年度（2名）	
土井 豊	野田川町	平成13年度（8名）		石田 武司	南丹市
齊藤 昌久	八木町	今宿 聖一	京都市	川隅富士夫	南丹市
尾崎 田鶴	木津町	池田 定子	与謝	平成23年度（6名）	
平成18年度（4名）		平成14年度（1名）		西垣 信夫	京都市
安藤 大宝	京都市	岩崎 靖信	京都市	坂井 保	京都市
清水 桂子	宇治市	北村 好雄	京都市	藤田 英夫	向日市
山田 洋三	南丹市	澤田 征信	京都市	松本 和三郎	宇治田原町
松岡 照幸	宮津市	仙石 寿博	京都市	西村 禮子	亀岡市
平成19年度（4名）		道下 善一	京都市	下司 富美子	南丹市
川邊 昌伸	京都市	辻川 直行	山城	平成24年（5名）	
上嶋 伯協	和束町	辻村 富士男	山城	小林 豊彦	京田辺市
原田 とよ子	福知山市	河原 義之	南丹	尾崎 田鶴	木津川市
原島 源一	京都市	平成15年度（6名）		木佐一 憲治	城陽市
平成20年度（4名）		緒形 靖信	京田辺市	和田 正	与謝野町
田中 文博	京都市	平成16年度（5名）		土井 豊	与謝野町
吉田 享司	京都市	小林 清和	京都市	優良団体表彰 （計18団体）	
山本 岩央	宇治市	宮川 重和	京都市	平成7年度	長岡京市
森下 完二	与謝野町	高木 良春	京都市	平成8年度	京都市
平成21年度（4名）		梅田 軍平	京都市	平成9年度	綾部市
中路 雅之	京都市	森川 聡	井手町	平成10年度	園部町
中村 治夫	向日市	池端 尚子	丹波町	平成11年度	宇治田原町
木佐一 憲治	城陽市	平成17年度（5名）		平成12年度	美山町
船木 君子	宇治市	田中 正勝	京都市	平成13年度	峰山町
平成22年度（4名）		飯野 昭則	京都市	平成14年度	宮津市
世木 雅啓	京都市	森川 洋子	井手町	平成15年度	向日市
和田 孝雄	京都市	徳田 利春	美山町	平成16年度	野田川町
栗田 善嗣	井手町	吉田 守	日吉町	平成17年度	舞鶴市
高月 裕子	久御山町	平成18年度（4名）		平成18年度	亀岡市
平成23年度（4名）		竹谷 良一	京都市	平成19年度	京田辺市
安藤 美佐子	京都市	吉田 昌功	京都市	平成20年度	大山崎町
牧野 正俊	京都市	栗田 善嗣	井手町	平成21年度	福知山市
藤本 登志子	京都市	村山 太三	南丹市	平成22年度	京丹後市
馬淵 佳津子	宇治市	平成19年度（4名）		平成23年度	宇治市
平成24年度（4名）		近藤 義弘	京都市	平成24年度	南丹市
小嶋 公子	京都市	中村 治夫	向日市	（※敬称略、市町村名又はブロック名）	
中嶋 丈介	京都市	市川 紀和	宇治市		

近畿スポーツ推進委員協議会表彰受賞者、中ブロック優良団体表彰

近畿功労者表彰 (計135名)	藤田 征平 京都市	大島 清子 向日市
昭和61年度 (2名)	緒方 靖信 山城	丸山 敏文 京田辺市
松田 周平 山城町	岡野 次雄 丹後	牧野 多佳子 園部町
西村 徳夫 京都市	平成8年度 (5名)	瀬野 俊策 舞鶴市
昭和62年度 (3名)	佐藤 芳夫 京都市	平成16年度 (5名)
小林 清和 京都市	竹谷 良一 京都市	斉藤 昇 京都市
村田 新之昇 田辺町	中村 治夫 乙訓	森 比佐 長岡京市
大垣 隆義 大江町	田口 嗣郎 山城	松本 和三郎 宇治田原町
昭和63年度 (6名)	吉田 守 南丹	下司 富美子 八木町
平成元年度 (4名)	平成9年度 (5名)	大島 みどり 綾部市
木本 匡 京都市	川邊 昌伸 京都市	平成17年度 (5名)
中嶋 恵二 京都市	三田村 修一 京都市	織田 正一 京都市
坂田 耕作 宇治市	森川 洋子 山城	中井 歌子 向日市
川隅 富士夫 日吉町	水野 信孝 山城	杉嶋 秀美 精華町
小田 垣忠明 夜久野町	関 吉廣 南丹	川勝 忠司 丹波町
吉田 雄二 加悦町	平成10年度 (5名)	岸和田 みすず 大江町
平成2年度 (4名)	山田 清司 山城	平成18年度 (8名)
田中 正勝 京都市	栗田 善嗣 山城	井上 敏行 京都市
保理江 敏雄 京都市	高木 義雄 京都市	谷口 清文 京都市
宮田 福太郎 城陽市	増田 吉文 京都市	玉田 清久 京都市
緒方 友義 舞鶴市	円越 増雄 京都市	西岡 治 山城
平成3年度 (4名)	平成11年度 (5名)	古川 裕計 山城
浪花 良喜 京都市	松山 弘 京都市	石田 武司 南丹
高木 良春 京都市	両国 武 京都市	名村 史枝 中丹
池田 定子 宮津市	田中 收 山城	沖野 豊和 丹後
矢野 千枝子 峰山町	岩井 義和 山城	平成19年度 (5名)
平成4年度 (4名)	徳田 利春 北桑田	堤 光二 京都市
梅田 軍平 京都市	平成12年度 (8名)	敏森 芙美 京都市
春日 健一 京都市	近藤 義弘 京都市	木下 静子 山城
永谷 三之丞 宇治市	掘田 須美雄 京都市	大田 實男 南丹
河原 義之 園部町	中嶋 登 京都市	尾畑 與市 丹後
平成5年度 (4名)	山本 信哉 京都市	平成20年度 (5名)
山村 英次 京都市	森川 聡 井手町	政 道代 京都市
今宿 聖一 京都市	松倉 京子 八幡市	西垣 信夫 京都市
井本 茂美 宇治市	小林 正則 三和町	石本 将隆 木津川市
広岡 稔文 大宮町	安見 義和 大宮町	栗林 慶治 亀岡市
平成6年度 (6名)	平成13年度 (5名)	糸井 佳子 福知山市
仙石 寿博 京都市	久米川 能久 京都市	平成21年度 (5名)
川田 友三 京都市	村田 俊明 京都市	岸本 邦夫 京都市
白井 宏 長岡京市	大橋 国明 乙訓	神保 則子 京都市
中島 一夫 京都市	山本 俊一 山城	五十棲 妙子 向日市
福山 秋文 宇治市	藤岡 洋一 中丹	橋本 久美 宇治田原町
和田 荘 大江町	平成14年度 (5名)	小池 信助 与謝野町
平成7年度 (4名)	松本 賢逸 京都市	平成22年度 (5名)
寺沢 嘉平 京都市	武田 伍郎 京都市	田畑 麗子 京都市
	壹岐 茂美 木津町	吉田 紀美子 京都市
	池端 尚子 丹波町	竹谷 保廣 相楽東部広域連合
	山本 正夫 綾部市	福田 明美 亀岡市
平成8年度 (5名)	平成15年度 (5名)	稲田 裕 舞鶴市
河井 治美 京都市		平成23年度 (5名)

若林 作 京都市
 石原 祐子 京都市
 山中 宏夫 京田辺市
 奥野 正三 亀岡市
 村尾 邦夫 舞鶴市

平成24年度（8名）

山岸 正和 京都市
 柳田 京子 京都市
 長谷川 春雄 京都市
 瀬川 克美 長岡京市
 村田 忠文 井手町
 河口 宏 木津川市
 北中 紀代子 亀岡市
 石岡 則弘 京丹後市

設立50周年記念「感謝状」贈呈（受領者）

黒田 清太郎	京都市	井上 陽男	宇治市
小林 清和	京都市	奥西 康人	井手町
坂本 憲三	京都市	岩本 清	旧京北町
道下 善一	京都市	橋本 禎万	亀岡市
山下 正則	京都市	川隅 富士夫	南丹市
藤田 英夫	向日市	岸上 吉治	南丹市
勝田 歳一	長岡京市	武田 勲	南丹市
北村 正己	長岡京市	野間 暉生	綾部市
篠田 智之	長岡京市	林田 順一	綾部市
三好 喜勝	長岡京市	岡部 一郎	福知山市
恵嶋 繁雄	大山崎町	原田 とよ子	福知山市
河原崎 進	大山崎町	松井 博孝	福知山市
岸本 勝治	大山崎町	櫻井 裕	舞鶴市
		堀 義一	舞鶴市

平成22年秋藍綬褒章受章者

山下 正則 京都市
 平成4年度～13年度、府副会長
 平成14年度～19年度、府会長

**中ブロック優良団体表彰
 （計47団体）**

平成6年度	京都市北区 京都市上京区 京都市左京区 向日市 舞鶴市
平成7年度	京都市中京区 京都市東山区 京都市山科区 綾部市
平成8年度	京都市下京区 京都市南区 京都市右京区 大山崎町
平成9年度	京都市西京区 京都市伏見区 福知山市
平成10年度	和束町 三和町
平成12年度	宇治田原町 日吉町
平成13年度	亀岡市 八木町
平成14年度	夜久野町 園部町 丹波町 和知町
平成15年度	大江町
平成16年度	加茂町 京北町
平成17年度	宇治市 城陽市 久御山町 精華町
平成18年度	木津町
平成19年度	長岡京市 京田辺市 京丹後市
平成20年度	井手町 伊根町 与謝野町
平成21年度	八幡市 宮津市
平成22年度	木津川市
平成23年度	南丹市
平成24年度	京都市 相楽東部広域連合 京丹波町

（※敬称略、市町村名又はブロック名）

京都府スポーツ推進委員協議会功労者表彰受賞者

昭和45年度 (18名)			真下 優	大江町	松田 周平	山城町	
松本 雅年	京都市	杉本 勝弥	加悦町	菅生 享	美山町	美山町	
川村 義雄	京都市	川原 宙男	峰山町	子馬 勝美	美山町	美山町	
北尾 宗一	京都市	昭和48年度 (15名)			視淵 英世	美山町	
若林 常次	京都市	岩崎 昭広	京都市	中西 二郎	園部町	園部町	
小林 勝	京都市	佛円 清	京都市	鈴木 康夫	舞鶴市	舞鶴市	
新 一夫	京都市	松田 六男	京都市	藤原 晴一	舞鶴市	舞鶴市	
井上 吉郎	京都市	清水 孝	京都市	居相 一弘	夜久野町	夜久野町	
桃井 繁造	京都市	植村 基	京都市	藤井 利夫	大江町	大江町	
中村 忠夫	京都市	上手 良一	京都市	大槻 庄太郎	大江町	大江町	
橋詰 健治	長岡町	林 庄平	京都市	松浦 和一郎	宮津市	宮津市	
早川 旬	城陽町	尾崎 忠孝	京都市	浜野 良幸	宮津市	宮津市	
坂田 耕作	宇治市	岩口 求	宇治市	小室 二三子	宮津市	宮津市	
林 茂	京北町	大西 正之	城陽市	小薮 忠夫	宮津市	宮津市	
小林 二郎	園部町	藤田 好一	園部町	安藤 武	加悦町	加悦町	
佐古田 益司郎	大江町	青木 信一	舞鶴市	吉田 雄二	加悦町	加悦町	
足立 晶	夜久野町	二井 照夫	福知山市	大下 崇	野田川町	野田川町	
岩瀬 宗司	宮津市	上野 充正	加悦町	中山 三好	峰山町	峰山町	
嶋田 隆男	峰山町	安達 為久夫	久美浜町	山本 きみ恵	峰山町	峰山町	
昭和46年度 (16名)			昭和49年度 (12名)			垣田 忠男	峰山町
石井 幸次	京都市	森下 徹	京都市	矢野 千枝子	峰山町	峰山町	
河村 正夫	京都市	宮崎 吾三郎	京都市	小牧 敏良	大宮町	大宮町	
森 照夫	京都市	赤木 貞夫	京都市	上田 美都雄	網野町	網野町	
平野 清継	京都市	重田 昇吾	京都市	平井 章生	弥栄町	弥栄町	
山崎 享	京都市	河原崎 進	大山崎町	昭和51年度 (2名)			
中村 正美	京都市	酒井 不二夫	城陽市	藤本 宏	八幡町	八幡町	
今井 昇	京都市	川崎 眞佐昭	田辺町	藤原 謙次	京北町	京北町	
大味 昭三	京都市	山鳥 利夫	園部町	昭和52年度 (6名)			
小泉 晨一	大山崎町	福井 四郎	綾部市	川本 喜兵衛	京都市	京都市	
浅田 昌三	宇治市	衣川 節子	夜久野町	高田 篤	京都市	京都市	
西村 源三郎	城陽市	千賀 明	岩滝町	笠井 武夫	亀岡市	亀岡市	
浅田 明	亀岡市	宮本 肇堂	弥栄町	山本 精一	舞鶴市	舞鶴市	
松田 義彦	福知山市	昭和50年度 (41名)			小田垣 忠明	夜久野町	夜久野町
田中 六郎	舞鶴市	藤田 昭夫	京都市	中垣 節男	岩滝町	岩滝町	
井田 健二	宮津市	岡本 紘和	京都市	昭和53年度 (15名)			
小西 憲一	大宮町	志賀 英和	京都市	春日 健一	京都市	京都市	
昭和47年度 (16名)			三宅 敏一	向日市	木下 二郎	京都市	
小林 祥造	京都市	山田 勇	向日市	山田 啓二	京都市	京都市	
杉原 幸雄	京都市	藤崎 利雄	向日市	野口 次良	京都市	京都市	
長井 京二	京都市	野村 稔	長岡京市	三木 徹	京都市	京都市	
滝川 正行	京都市	小泉 喜代一	大山崎町	伊藤 実	京都市	京都市	
田中 正彦	京都市	小泉 達夫	大山崎町	団 幸夫	京都市	京都市	
前川 一夫	京都市	広瀬 浩二	宇治市	寺西 政年	長岡京市	長岡京市	
三浦 昭	京都市	井上 陽男	宇治市	大石 忠義	大山崎町	大山崎町	
豊田 豊司	京都市	村田 新之昇	田辺町	薮内 治	宇治市	宇治市	
富田 一成	向日市	飛田 重三	久御山町	東 清和	宇治市	宇治市	
森村 正美	田辺町	松村 光朗	久御山町	奥西 弘昌	田辺町	田辺町	
奥田 紀	八幡市	田井 重明	久御山町	黒山 武次	城陽市	城陽市	
和田 昇	園部町	三上 武	木津町	高木 茂	園部町	園部町	
梅田 義宏	綾部市	六嶋 四郎	木津町	永井 嘉一	網野町	網野町	

昭和54年度 (3名)			吉田 博之 峰山町	長島 重夫 京都市																																							
吉本 正次 亀岡市	昭和56年度 (12名)			村井 辰雄 京都市																																							
川隅 富士夫 日吉町	富田 隆三 京都市	小林 忠司 京都市	宮本 千也 精華町	大垣 隆義 大江町	西村 徳夫 京都市	岩井 政行 精華町	田村 昇 和束町	山本 忠男 加茂町	緒形 靖信 田辺町	田井 重明 久御山町	吉田 守 日吉町	原田 寿賀美 和知町	上田 次雄 瑞穂町	森田 一三 瑞穂町	田中 利和 福知山市	八木 一弘 伊根町	森 重俊 弥栄町																										
昭和55年度 (46名)			天生 孝太郎 京都市	山本 佐 京都市	八幡 益男 京都市	今宿 聖一 京都市	谷口 吉春 京都市	辻 信征 京都市	河崎 忠治 久御山町	中谷 晴美 久御山町	大田 雅史 美山町	池本 健治 伊根町	昭和57年度 (28名)					昭和59年度 (51名)																									
南野 辰夫 京都市	安藤 武男 京都市	和田 金造 京都市	岩崎 靖信 京都市	北村 好雄 京都市	村上 繁 京都市	向田 博彦 京都市	澤田 征信 京都市	前川 幸造 京都市	仙石 壽博 京都市	木下 昭男 京都市	浪花 良喜 京都市	道下 善一 京都市	坪口 堅一 京都市	川嶋 克巳 京都市	田中 洋行 京都市	馬場 友治 木津町	辻村 富士男 宇治田原町	乾 浩之 田辺町	茨木 定夫 久御山町	伊藤 玲子 宇治市	辻川 直行 宇治市	武田 勲 美山町	吉田 和夫 丹波町	岡部 一郎 三和町	緒形 友義 舞鶴市	藤田 雅之 三和町	勝山 伯彦 野田川町	谷口 弘 網野町	猪飼 伸三 京都市	齐藤 勝 京都市	谷 忠孝 京都市	木本 匡 京都市	中嶋 恵二 京都市	早田 一一 京都市	福山 秋文 宇治市	中村 晋一 宇治市	田口 嗣郎 久御山町	北村 勉 田辺町	東川 祐夫 田辺町	宮本 英男 井手町	河野 拙也 井手町		
国友 静男 京都市	中村 修治 京都市	永田 勝美 京都市	富田 進 京都市	高橋 幸三 京都市	山下 正則 京都市	坂本 憲三 京都市	田中 晃 京都市	勝間 昇 京都市	西村 力 京都市	木村 隆一 京都市	伏原 高司 京都市	立川 輝信 京都市	竹田 征史 京都市	松井 英明 京都市	北川 幸男 京都市	山村 英次 京都市	長谷川 信次 京都市	生水出 郁弘 京都市	久保田 昭二 京都市	松井 隆夫 京都市	田井 敏夫 京都市	清水 一雄 京都市	青木 貞夫 京都市	谷口 勝 京都市	沢本 衆一 京都市	黒田 清太郎 京都市	齐藤 康郎 京都市	春田 満夫 向日市	西脇 功 長岡京市	井本 茂美 宇治市	永谷 三之丞 宇治市	石丸 捷隆 加茂町	奥村 善晴 園部町	村井 昭夫 瑞穂町	太田 英也 福知山市	塩見 豊 福知山市	小室 文雄 宮津市	森 輝吉 宮津市	池田 定子 宮津市	中田 寛 岩滝町	牛田 智 野田川町	岸田 和夫 峰山町	三浦 剛 峰山町
昭和58年度 (22名)			石岡 道弘 京都市	中村 禎吾 京都市	飛田 政司 京都市	川田 友三 京都市	木下 康 京都市	灘 洋一 京都市	三柴 豊 京都市	清水 文雄 京都市	杉本 光男 京都市	今西 征三郎 京都市	小林 清和 京都市	寺澤 喜平 京都市	宮川 重和 京都市	八木 信一 京都市	福井 洋三 京都市	木村 清彦 京都市	久世 恒夫 京都市	市橋 国男 京都市	高木 良春 京都市	梅田 軍平 京都市	木元 秀行 京都市	森田 肇 大山崎町	清水 弘三 大山崎町	森 善重 大山崎町	北村 正巳 長岡京市	中島 一夫 宇治市	福山 秋文 宇治市	中村 晋一 宇治市	田口 嗣郎 久御山町	北村 勉 田辺町	東川 祐夫 田辺町	宮本 英男 井手町	河野 拙也 井手町								

森川 聡	井手町	北林 由夫	京都市	生嶋 嘉男
梶浦 英善	山城町	稲田 秀一	京都市	中村 治夫
北田 進	木津町	田中 正勝	京都市	瀬尾 孝治
畑 武志	和束町	高屋 宏章	京都市	白井 宏
池端 尚子	丹波町	保理江 敏雄	京都市	西村 宏
田端 耕喜	丹波町	藤原 二郎	京都市	宮田 福太郎
岸上 吉治	八木町	宮崎 昭比古	京都市	岩井 義和
笠浪 正員	八木町	飯野 昭則	京都市	保田 剛毅
高橋 昭治	福知山市	塚田 政美	京都市	大塚 清治
沢田 正一	綾部市	布野 元基	京都市	栗田 善嗣
安達 雅雄	福知山市	松山 義信	京都市	上沢 秀治
杉山 弘	福知山市	吉岡 孝	京都市	堀江 光治
垣田 洋一	舞鶴市	脇本 泰男	宇治市	吉田 隆市
吉田 しげ子	福知山市	田中 収	宇治市	野間 暉生
阪梨 範明	福知山市	中村 武師	宇治市	広岡 稔丈
広野 善三	網野町	細江 久典	宇治市	馬久地 秀光
荻野 良男	峰山町	水野 信孝	宇治市	林 孝司
吉岡 俊八	弥栄町	藤沢 寛治	宇治市	井上 利博

昭和60年度 (18名)

山本 英介	京都市
山岸 福広	京都市
佐藤 芳夫	京都市
住辻 昭信	京都市
田中 庄次	京都市
中田 明治	京都市
石和 俊夫	京都市
藤田 佳則	京都市
杉浦 惇生	京都市
三好 達男	向日市
水谷 敏	長岡京市
奥村 太門	宇治田原町
山田 清司	木津町
赤松 則和	三和町
細見 良就	三和町
大森 武	大江町
岡野 次雄	丹後町
小林 文博	丹後町

昭和61年度 (60名)

池田 賢二	京都市
村中 章悟	京都市
中村 正彦	京都市
安井 徳久	京都市
辻吉 照	京都市
藤田 征平	京都市
石塚 眞次	京都市
今井 秀夫	京都市
新谷 久利	京都市
石田 敬雄	京都市
辻 一男	京都市
竹谷 良一	京都市

吉田 新治	宇治市
内川 中彦	宇治市
村山 治実	田辺町
森川 洋子	井手町
木村 勝	山城町
山口 哲志	笠置町
西村 典夫	笠置町
植村 茂樹	和束町
北沢 康秀	和束町
井上 律男	和束町
篠田 智之	長岡京市
常田 直子	亀岡市
河原 義之	園部町
小林 和好	日吉町
栃下 三千夫	日吉町
山崎 清春	丹波町
山内 信一	瑞穂町
徳田 利春	美山町
大槻 進	綾部市
桜井 裕	舞鶴市
竹内 進	舞鶴市
魚住 逸弥	舞鶴市
澤田 道利	舞鶴市
堀 義一	舞鶴市
松井 良樹	三和町
和田 莊	大江町
岡 伸持	宮津市
長砂 幸男	久美浜町
梅田 耕之助	網野町
日下部 栄一	峰山町

昭和62年度 (20名)

井上 孝男

昭和63年度 (67名)

堀 元夫
安藤 量祥
円越 増雄
小田 宏美
床尾 義信
波多野 洋三
塩津 伴明
近藤 義弘
柴田 清二
増田 吉文
亀井 孝雄
高木 義雄
高橋 保夫
落合 義博
伊丹 勝幸
松山 弘
石田 公和
津久井 道治
川邊 昌伸
西小路 光輝男
三田村 修一
南 紀男
内田 梶尋
川辺 勝
森 敏雄
平井 澄男
西山 正
市川 紀和
山本 俊一
吉田 至

小林 豊彦
 垣内 清市
 中井 喜彦
 新田 晴美
 森本 伸一
 村田 昌義
 池田 三郎
 裏出 功
 木野 正男
 森嶋 徹
 辻田 修作
 山村 幸裕
 井尾 幸
 平岡 光則
 田中 昌夫
 村田 正夫
 菅井 均
 西村 明男
 上段 寿三郎
 谷口 利雄
 松本 和久
 松山 義則
 田淵 敬治
 岡本 務
 岩田 恵一
 山田 真悟
 瀬野 俊策
 小林 正則
 細見 栄子
 西垣 一子
 山中 登
 杉下 敏郎
 山崎 愛次郎
 柴田 成男
 中邑 博之
 吉田 庄治
 梅田 勲

平成元年度 (14名)

今井 直司 京都市
 田村 義弘 京都市
 西本 輝男 京都市
 高山 博行 京都市
 堀田 須美雄 京都市
 中鶴 登 京都市
 田中 新二 京都市
 皆川 幸夫 京都市
 柳田 昭弘 京都市
 広瀬 孝一 京都市
 吉田 昌功 京都市
 勝田 歳一 長岡京市

森本 豊 精華町
 西島 勝行

平成2年度 (69名)

碓井 隆雄 京都市
 牧本 晴男 京都市
 辻井 啓三郎 京都市
 中原 龍夫 京都市
 三好 雅弘 京都市
 両国 武 京都市
 車田 靖宏 京都市
 中本 伸生 京都市
 松岡 圭至 京都市
 若林 健三 京都市
 中村 博 京都市
 船口 三郎 京都市
 桑原 展弘 京都市
 山本 信哉 京都市
 藤野 徹夫 京都市
 小川原 繁 京都市
 今井 峰雄 京都市
 森脇 一雄 京都市
 河合 啓二 京都市
 岸本 進 京都市
 竹田 信一 京都市
 久米川 能久 京都市
 荒川 清司 京都市
 福本 光行 京都市
 七尾 国充 京都市
 神原 正量 京都市
 長野 耕二 京都市
 岸本 勝治 大山崎町
 曾根高 美倭子 大山崎町
 西村 昭彦 宇治市
 山本 一男 宇治市
 横川 正隆 宇治市
 村上 多加子 宇治市
 角 進一 宇治市
 辻 繁喜 宇治市
 後藤 雄 久御山町
 中嶋 春男 宇治田原町
 平井 忠一郎 宇治田原町
 山下 満弘 宇治田原町
 老岐 茂美 木津町
 福本 洋 木津町
 武田 博利 木津町
 上嶋 伯協 和束町
 池尻 典隆 和束町
 中嶋 明 京北町
 桜井 俊則 亀岡市
 橋本 偵万 亀岡市

畑 武司 亀岡市
 中村 幸一 亀岡市
 岩本 章良 亀岡市
 平田 秀瑞 亀岡市
 堀 郁太郎 和知町
 牧野 多佳子 園部町
 森田 建男 亀岡市
 村山 太三 日吉町
 山内 照幸 亀岡市
 梅垣 知子 綾部市
 辻本 邦雄 綾部市
 本田 文夫 綾部市
 瀬野 淳一 舞鶴市
 吉田 芳雄 舞鶴市
 足立 洋子 夜久野町
 の場 寸忍 夜久野町
 上柳 隆久 岩滝町
 小倉 明美 岩滝町
 伊藤 光盛 岩滝町
 近藤 三代志 弥栄町
 小西 勝史 久美浜町
 平林 正明 久美浜町

平成3年度 (21名)

伊藤 快宏 京都市
 須賀原 伸治 京都市
 畑 敏夫 京都市
 中嶋 久雄 京都市
 辻 康男 京都市
 村田 俊明 京都市
 尾崎 田鶴 木津町
 松倉 京子 八幡市
 澤井 剛 八幡市
 早崎 竜一 城陽市
 丸山 敏文 田辺町
 小林 勝美 日吉町
 谷口 久和 日吉町
 関 吉廣 亀岡市
 梅原 修 綾部市
 樋口 育二 三和町
 久木 康弘 綾部市
 堀 光宏 岩滝町
 大槻 徹 舞鶴市
 安見 義和 大宮町
 岩淵 義博 網野町

平成4年度 (67名)

土江 光良 京都市
 村松 栄 京都市
 井口 光男 京都市
 松本 賢逸 京都市
 尾田 政博 京都市

菊池 良雄	京都市	芦田 幹二	夜久野町	高岡 克実	京都市	
千葉 博	京都市	衣川 たゑ子	夜久野町	原島 源一	京都市	
脇 長廣	京都市	波尻 直孝	加悦町	野々村 馨	京都市	
西垣 信夫	京都市	桐村 憲昭	宮津市	井上 隆夫	京都市	
玉田 清久	京都市	土井 豊	野田川町	千本 省剛	京都市	
小川 徹司	京都市	倉田 敏広	宮津市	古谷 政治	京都市	
福井 謙三	京都市	和田 正	野田川町	窪田 淳三	京都市	
原田 悟	京都市	松岡 照幸	宮津市	山下 泰裕	京都市	
山田 公平	京都市	山本 廣治	峰山町	小西 克巳	京都市	
近藤 信行	京都市	中村 善博	峰山町	福井 徳治	京都市	
林 稔	京都市	藤原 信英	弥栄町	久堀 已知章	京都市	
黒沢 陽一	京都市	平林 孝志郎	弥栄町	樋口 重明	長岡京市	
休 久男	京都市	平成5年度 (19名)			奥村 美恵子	宇治市
景山 豊	京都市	池田 泰之	京都市	高井 博	城陽市	
小西 敏	京都市	平野 郁雄	京都市	佐野 恵理子	八幡市	
武田 伍郎	京都市	須田 征四郎	京都市	正田 英之	京田辺市	
斉藤 昇	京都市	矢尾 勝巳	京都市	杉田 佐智子	井手町	
田中 永寿	向日市	木曾 一	京都市	太田 實男	亀岡市	
杉崎 啓二	向日市	谷口 清文	京都市	阪田 勲	亀岡市	
藤田 英夫	向日市	堤 光二	京都市	栗林 慶治	亀岡市	
河野 繁	大山崎町	川本 貢	京都市	中川 貴文	日吉町	
辻 正勝	大山崎町	野口 憲雄	京都市	梅原 好範	和知町	
廣庭 尚平	宇治市	大島 清子	向日市	今村 博樹	綾部市	
中村 折子	宇治市	中井 歌子	向日市	赤井 美代子	福知山市	
福原 博	城陽市	石本 将隆	加茂町	岩尾 義治	福知山市	
木佐一 憲治	城陽市	新井 泰治	精華町	大槻 真	福知山市	
片岡 清嗣	久御山町	仲上 むつ子	京北町	桐村 啓之	福知山市	
松本 和三郎	宇治田原町	岩城 久雄	日吉町	塩見 健司	福知山市	
浅田 晃弘	宇治田原町	達脇 覚	福知山市	原田 とよ子	福知山市	
古川 陽治	井手町	小林 八重乃	三和町	岩野 敬寛	舞鶴市	
草木 美恵	京北町	倉野 一夫	久美浜町	細見 てるみ	三和町	
内田 博	京北町	中江 英雄	丹後町	森下 完二	加悦町	
細見 秀一	京北町	平成6年度 (74名)			平成11年度 (15名)	
坂井 保	京北町	被表彰者の記録なし			山本 一夫	京都市
下田 満代	美山町	平成7年度 (22名)			隠岐 光信	京都市
中島 史隆	美山町	被表彰者の記録なし			岩佐 省佑	京都市
前田 好久	美山町	平成8年度 (68名)			大賀 貞彦	京都市
石田 武司	美山町	被表彰者の記録なし			中塚 茂	京都市
出畑 忠一	亀岡市	平成9年度 (22名)			岡田 光則	京都市
俣野 昌美	亀岡市	被表彰者の記録なし			松井 勝正	長岡京市
松山 光雄	亀岡市	平成10年度 (41名)			山本 愛子	京田辺市
西村 禮子	亀岡市	小西 伊久男	京都市	駒村 勝利	京田辺市	
下司 富美子	八木町	寺村 進	京都市	戸嶋 尚子	加茂町	
竹中 修	園部町	山森 真志	京都市	堀 久美子	加茂町	
湯浅 隆夫	日吉町	志馬 良三	京都市	西下 保	瑞穂町	
山本 正夫	綾部市	田結庄 正文	京都市	軽野 篤	瑞穂町	
大島 みどり	綾部市	関谷 和夫	京都市	小池 信助	野田川町	
大槻 鎮男	福知山市	北中 久永	京都市	尾畑 與市	峰山町	
藤岡 洋一	福知山市	田中 茂弘	京都市	平成12年度 (75名)		
衣川 和博	夜久野町	濱田 柳之助	京都市	今村 信夫	京都市	

岡本 日吉	京都市	大山 肇	亀岡市	杉本 重雄	京都市
澤田 勝利	京都市	出口 節子	亀岡市	住江 正久	京都市
片山 徹	京都市	奥野 正三	亀岡市	多田 寿尋	京都市
西山 一生	京都市	福田 明美	亀岡市	有本 幸子	長岡京市
今江 重雄	京都市	清水 栄樹	亀岡市	斉藤 勝巳	長岡京市
坪井 顕二	京都市	山下 勝美	亀岡市	瀬川 克美	長岡京市
舟元 十四男	京都市	美馬 美智代	亀岡市	関口 雅敏	宇治市
池田 吉一	京都市	畠中 節子	瑞穂町	坪田 恒幸	宇治市
門脇 博己	京都市	本郷 実	福知山市	福井 繁隆	宇治市
石田 勇	京都市	滝下 香代子	綾部市	馬淵 佳津子	宇治市
金澤 正和	京都市	衣川 厚	綾部市	大下 利實	城陽市
和田 孝雄	京都市	梅原 徳芳	綾部市	久留米 正子	城陽市
池田 貞弘	京都市	入江 一郎	大江町	笹嶋 道子	城陽市
丸矢 勉	京都市	浦井 達人	三和町	小寺 道夫	久御山町
若林 作	京都市	岡田 真弓	舞鶴市	信貴 豊廣	久御山町
谷尻 充	京都市	井田 富博	宮津市	高月 裕子	久御山町
中村 正樹	京都市	松井 正之	宮津市	茅田 千恵子	久御山町
那須 勉	京都市	横谷 都子	加悦町	南 竹志	久御山町
西田 幸信	京都市	東垣 茂男	加悦町	田中 保美	井手町
中川 辰夫	京都市	今岡 正信	伊根町	坪内 健二	宇治田原町
亀倉 正春	京都市	今澤 諭	伊根町	関口 秀樹	木津町
佐藤 豊美	京都市	坪倉 巧男	峰山町	信次 剛司	木津町
古田 重男	京都市	野村 喜久男	網野町	奥本 博昭	京北町
松原 常夫	京都市	井上 真知子	大宮町	細見 正博	京北町
宮本 登	京都市	平成13年度 (21名)		北中 紀代子	亀岡市
大西 隆之	京都市	谷内 輝美	京都市	並河 信彦	亀岡市
岡部 亘泰	京都市	広瀬 修	京都市	樹山 敏彦	丹波町
小谷 巧	京都市	堀 治美	京都市	竹内 健	丹波町
日比 幸一	京都市	園 美津雄	京都市	山内 英紀	丹波町
福田 哲雄	京都市	田中 文博	京都市	谷口 いづみ	和知町
松井 廣昭	京都市	足立 義人	京都市	佐堀 久人	綾部市
山内 俊治	京都市	富永 佐知子	京都市	日高 康	舞鶴市
山岸 正和	京都市	熊野 重美	向日市	藤村 保夫	舞鶴市
清水 泰子	向日市	桜井 康則	城陽市	村尾 邦夫	舞鶴市
五十棲 妙子	向日市	吉岡 伊三郎	城陽市	赤穂 のぶ子	三和町
野口 真理子	宇治市	谷川 光男	山城町	中村 善昭	三和町
藤村 信行	宇治市	岸根 明美	丹波町	荒木 秀幸	大江町
波尻 寛之	城陽市	長澤 誠	丹波町	北垣 拓也	大江町
中村 亮	八幡市	谷口 誠	和知町	関本 恵美	大江町
杉山 徹	京田辺市	夜久 早百合	夜久野町	和久 康之	大江町
大西 忠彦	久御山町	足立 真理子	夜久野町	亀井 亜希子	宮津市
榎村 昌弘	宇治田原町	衣川 浩行	夜久野町	木村 広穂	宮津市
宮本 礼子	宇治田原町	富田 順照	加悦町	田中 明美	丹後町
宇野 由美子	精華町	中西 和政	峰山町	平成15年度 (135名)	
河口 宏	加茂町	江波 博志	大宮町	林 武志	京都市
桧谷 正樹	和束町	川戸 省吾	大宮町	滝口 美津子	京都市
一瀬 章弘	京北町	平成14年度 (46名)		住 忠雄	京都市
野村 英樹	京北町	小川 一也	京都市	佐藤 栄子	京都市
林 幸次	京北町	安嶋 一晃	京都市	藤本 登志子	京都市
上林 博文	美山町	山口 康雄	京都市	森本 明美	京都市

竹若 孝二	京都市	奥野 かつ子	京都市	岡谷 陽子	京都市
牧野 正俊	京都市	多河 英雄	京都市	安嶋 美代子	京都市
福井 啓一	京都市	柴田 勝子	京都市	藤田 知寿子	京都市
上下 まき子	京都市	宇田 ゆき江	京都市	田中 久子	京都市
河合 糸代	京都市	西村 博	京都市	草野 悦子	京都市
細 昌和	京都市	中川 勉	京都市	村田 照子	京都市
小嶋 公子	京都市	勝岡 英雄	京都市	中野 恒子	京都市
本郷 睦代	京都市	坪田 秀和	京都市	船越 清美	京都市
河井 治美	京都市	辻井 義一	京都市	山本 佳子	京都市
藤北 恵子	京都市	吉見 克彦	京都市	河本 光子	京都市
駒井 康男	京都市	北野 敬二郎	京都市	西橋 絹子	京都市
須崎 カズ子	京都市	河村 英樹	京都市	森 三千子	京都市
高木 礎	京都市	中村 桂介	京都市	浅野 保彦	京都市
山田 喜久雄	京都市	佐々木 孝子	京都市	西村 信孝	京都市
世木 雅啓	京都市	浅野 澄子	京都市	棕橋 きよみ	京都市
普照 順子	京都市	織田 君子	京都市	紺谷 美津子	京都市
高山 さちか	京都市	敏森 芙美	京都市	土井 哲夫	向日市
西村 久美子	京都市	村上 容子	京都市	吉村 和子	加茂町
畦崎 輝義	京都市	武本 美代子	京都市	植西 和美	精華町
平沢 かづ子	京都市	阪尾 和子	京都市	小林 正秀	美山町
大畠 恵子	京都市	福井 和代	京都市	由良 隆夫	亀岡市
北川 初江	京都市	久米 陽子	京都市	細川 智則	瑞穂町
大川 洋子	京都市	徳永 歌子	京都市	栗林 英治	和知町
安保 洋一	京都市	石原 祐子	京都市	佐々木 博子	綾部市
加納 都	京都市	砂原 啓二	京都市	樋口 正明	三和町
上大迫 和代	京都市	吉田 紀美子	京都市	松本 隆子	峰山町
中村 公彦	京都市	斉藤 眞澄	京都市	石岡 則弘	大宮町
鋸屋 美恵子	京都市	福田 恵巳子	京都市	大木 明美	大宮町
太田 憲志	京都市	小阪 正江	京都市	大木 眞二	大宮町
塚本 高士	京都市	宮本 和子	京都市	平成16年度 (41名)	
山田 昌枝	京都市	辻 都	京都市	川本 俊雄	左京区
磯部 正子	京都市	松尾 喜美子	京都市	橋本 満枝	山科区
森 悦美	京都市	政 道代	京都市	溝川 清造	山科区
船越 秀一	京都市	木下 博子	京都市	阿比留 仁	伏見区
林 静子	京都市	細川 栄子	京都市	米澤 修	伏見区
中村 サチ子	京都市	中村 みさ	京都市	坂田 征男	長岡京市
吉澤 昌男	京都市	齊藤 利子	京都市	服部 勝彦	長岡京市
津田 隆之	京都市	木村 宗子	京都市	恵嶋 繁雄	大山崎町
神保 則子	京都市	豊田 文子	京都市	平井 秀雄	大山崎町
安藤 美佐子	京都市	佐藤 哲夫	京都市	北村 伸之	宇治市
佐藤 由紀子	京都市	中西 正行	京都市	高橋 利之	城陽市
佐賀 明美	京都市	河合 静子	京都市	西川 誠弥	京田辺市
虫明 洋子	京都市	前渕 美佐子	京都市	細田 貴子	京田辺市
伊東 律子	京都市	若林 良二	京都市	曾束 正一	久御山町
細川 純子	京都市	清水 昌子	京都市	古川 幸子	井手町
三浦 ふゆき	京都市	箕打 利一	京都市	伊藤 加代子	宇治田原町
岡田 一男	京都市	桂 照子	京都市	片山 忠一	宇治田原町
宮田 令子	京都市	田畑 麗子	京都市	田中 満子	木津町
吉野 弘子	京都市	鈴木 晃司	京都市	馬場 涉	木津町
岡田 洋子	京都市	地村 雅江	京都市	西山 さをり	和束町

梅原 啓三	亀岡市	稲田 美和子	北 区	新井 朗	城陽市
木村 憲文	亀岡市	蔭山 嘉一	左京区	石田 良一	城陽市
森 為次	園部町	木村 清信	東山区	中村 彰	宇治市
井尻 逸子	日吉町	熊木 美香子	山科区	藤田 好子	笠置町
阪田 祥子	日吉町	小寺 文子	東山区	佐々木 由紀子	亀岡市
中野 均	日吉町	齋藤 照美	中京区	中川 敦雄	南丹市
湯浅 みさを	日吉町	笹原 佳子	左京区	松岡 寿子	亀岡市
真野 勝也	瑞穂町	柴田 みや子	右京区	新井 知子	福知山市
十倉 隆英	和知町	渋谷 正美	上京区	杉田 恵理	福知山市
村上 元良	綾部市	島津 幸夫	左京区	宮田 清志	舞鶴市
安久 泰助	舞鶴市	嶋 みゆこ	左京区	井上 登喜枝	与謝野町
柴田 知美	舞鶴市	下平 良夫	左京区	上羽 栄一	京丹後市
内藤 正嗣	舞鶴市	高木 三郎	北 区	上山 初美	伊根町
森川 靖彦	舞鶴市	高橋 スミエ	左京区	奥田 正博	伊根町
真下 真寿美	大江町	土佐 明美	南 区	小長谷 恵子	与謝野町
大江 秀和	京丹後市	内藤 栄紀	下京区	渋谷 晴代	与謝野町
蒲田 繁廣	京丹後市	長池 幸子	伏見区	坪倉 薫	京丹後市
岸本 義男	京丹後市	中川 幸治	右京区	友次 敦美	与謝野町
瀬崎 道子	京丹後市	西村 繁	東山区	本城 智鶴	与謝野町
野木 武	京丹後市	橋本 建	伏見区	増井 洋	与謝野町
吉岡 毅	京丹後市	原田 道昭	東山区	森野 和仁	京丹後市

平成17年度 (22名)

秋田 淑子	西京区	樋口 敏夫	北 区	横島 博文	京丹後市
岡井 鈴子	山科区	日比野 定仁	右京区		
小北 洋子	下京区	平井 正雄	南 区		
田口 洋一	伏見区	平田 光子	中京区		
田村 多希子	南区	広野 完児	伏見区		
樋口 唯志	下京区	深瀬 悟	左京区		
平栗 文隆	下京区	福原 隆平	左京区		
村島 秀夫	中京区	藤谷 芳史	下京区		
今井 寿雄	城陽市	藤戸 良美	下京区		
千葉 昌尚	八幡市	藤原 信三	上京区		
山口 修平	八幡市	細井 昇	下京区		
三宅 泰宏	亀岡市	細見 くに子	右京区		
石原 智子	八木町	本多 宏次	上京区		
小杉 正之	八木町	松見 洋子	右京区		
中嶋 敏男	八木町	溝井 和広	山科区		
中辻 隆	八木町	三橋 康子	下京区		
小谷 裕子	宮津市	宮城 利夫	西京区		
小室 恵美子	宮津市	宮崎 貴美子	左京区		
德澤 宏明	宮津市	森口 幸夫	左京区		
西原 成	加悦町	森田 透	北 区		
高田 茂吉	京丹後市	柳田 京子	山科区		
松本 健二	京丹後市	山内 真矛	東山区		

平成18年度 (77名)

浅田 英子	下京区	山本 史朗	中京区		
有吉 文	伏見区	山元 世津子	上京区		
磯川 博史	上京区	吉岡 敏枝	中京区		
板倉 克夫	右京区	吉村 進	東山区		
稲田 好造	北 区	吉川 昌治	向日市		
		阿部 治	井手町		

平成19年度 (17名)

伊藤 正二	右京区				
村上 治	右京区				
松川 信夫	西京区				
鶴飼 春雄	伏見区				
尾方 二子	伏見区				
鷹野 明子	八幡市				
堤 博美	八幡市				
村田 吉基	久御山町				
岩城 喜和	井手町				
辻 博文	和束町				
林 幹大	和束町				
森川 幸男	和束町				
千葉 恭子	精華町				
津田 勝二	京丹波町				
小倉 政則	京丹後市				
西井 啓輔	京丹後市				
西馬 紀代美	与謝野町				

平成20年度 (66名)

板谷 光芳	北 区				
大岡 一宏	北 区				
辻 邦夫	北 区				
渡辺 清	北 区				
泉正 幸	上京区				
三上 洋正	上京区				
浅田 和雄	左京区				
辻 弘子	左京区				
野口 喜弘	左京区				

保科 隆	左京区	四方 和之	綾部市	森下 裕次	右京区	
大和 茂和	左京区	西田 智彦	福知山市	柳坂 禎輔	右京区	
若井 敬子	左京区	西山 俊弘	福知山市	石井 達三	西京区	
岩堀 耕二	中京区	西村 あおい	舞鶴市	野木 あゆ美	西京区	
小野 幸江	中京区	堀江 智美	舞鶴市	松本 治行	西京区	
田井中 征治	中京区	谷口 範子	京丹後市	田中 悦子	伏見区	
中藪 和子	中京区	廣野 美穂	与謝野町	中嶋 了子	伏見区	
和多田 善夫	中京区	平成21年度 (9名)			中村 美枝子	伏見区
邊瀬 敏彦	東山区	野村 幸子	左京区	古川 良二	伏見区	
井上 浩子	山科区	西村 勝嘉	中京区	松尾 孝子	伏見区	
田中 輝子	山科区	北村 栄一	山科区	柿木 浩一	大山崎町	
徳田 悦子	山科区	川田 秀雄	西京区	江口 昭典	宇治市	
服部 正	南区	河野 藤男	伏見区	黒田 行雄	城陽市	
湊 弘明	南区	光橋 通信	木津川市	渋谷 明彦	城陽市	
大嶋 千鶴子	右京区	東 清子	京丹波町	木村 勝	木津川市	
合田 吉廣	右京区	田崎 仁志	京丹後市	奥野 隆信	久御山町	
近藤 和雄	西京区	堀 育夫	京丹後市	渋谷 健二	久御山町	
戸崎 悦子	西京区	平成22年度 (69名)			中瀬 由香里	久御山町
中村 ツヤ子	西京区	伊藤 まさえ	北区	中務 眞二	久御山町	
細川 和明	西京区	金森 美枝	北区	井上 友成	精華町	
有川 教子	伏見区	坂下 久美子	北区	高倉 洋二	綾部市	
岡村 正一	伏見区	村田 純男	北区	岡村 裕之	福知山市	
寒風澤 利明	伏見区	千田 寧英	北区	柏 一男	福知山市	
玉岩 英男	伏見区	鈴木 容子	上京区	田中 眞	福知山市	
坂本 桂一	大山崎町	栃下 幸枝	上京区	寺川 慎治	福知山市	
澤崎 好二	宇治市	今瀧 峰男	左京区	夜久 保徳	福知山市	
田中 成司	宇治市	岸根 喜三郎	左京区	岸本 浩	舞鶴市	
田中 恵美子	宇治市	高橋 清和	左京区	高田 邦子	舞鶴市	
中川 悦子	宇治市	玉記 恵子	左京区	近藤 浩司	京丹後市	
宮脇 勉	宇治市	西脇 正博	左京区	番場 玉恵	京丹後市	
森田 次郎	宇治市	野中 和男	左京区	平林 靖生	京丹後市	
須崎 貞子	城陽市	三宅 紀一	左京区	藤原 久美子	京丹後市	
稲岡 克彦	京田辺市	山下 渉	左京区	石倉 直道	伊根町	
井久保 秀樹	木津川市	北川 こま	中京区	矢野 英基	伊根町	
大倉 竹次	木津川市	松見 昱子	中京区	井上 敦生	与謝野町	
亀井 順子	木津川市	小森 敦子	東山区	奥中 輝雄	与謝野町	
小西 彰	木津川市	忠地 栄守	東山区	山添 三知生	与謝野町	
藤原 千鶴子	木津川市	村田 久美子	東山区	平成23年度 (24名)		
横田 純一	井手町	熊谷 元雄	山科区	西村 久男	北区	
藤本 英樹	宇治田原町	大和 富夫	山科区	細井 正晴	上京区	
東 隆	和束町	飛 信明	下京区	中坊 市次郎	左京区	
中川 清史	精華町	吉浪 勇	下京区	日比 淳一	左京区	
稲本 理恵子	亀岡市	柿本 祐子	南区	矢瀧 誠	中京区	
関 彰	亀岡市	渡辺 眞志	南区	楠瀬 昭彦	山科区	
高田 登紀子	亀岡市	稲尾 潤子	右京区	古川 寛	南区	
平井 和夫	亀岡市	上杉 しげ子	右京区	岩谷 泉	右京区	
中村 公治	南丹市	内海 玲子	右京区	清水 逸夫	右京区	
谷 正幸	南丹市	新川 和子	右京区	中田 雅裕	西京区	
名古 明美	南丹市	諏訪 志朱子	右京区	松下 誠	西京区	
吉田 靖	南丹市	拾井 明美	右京区	矢野 幸子	西京区	

郡川 鶴代	伏見区	山田 純子	右京区
田賀 千恵	向日市	横田 昌樹	右京区
高木 安紀子	向日市	嶋先 久美子	西京区
岡崎 千鶴	城陽市	杉山 康夫	西京区
小出 佐代子	城陽市	谷口 みゑ子	西京区
姫路 桂子	京田辺市	林 ちか子	西京区
吉形 和子	木津川市	藤井 政子	西京区
相川 尚美	井手町	山口 義夫	西京区
谷本 昌隆	相楽東部広域連合	澤田 伸子	伏見区
田中 敏夫	京丹波町	永町 千津子	伏見区
稲本 美智子	京丹後市	新井田 紀夫	伏見区
坂中 喜代美	与謝野町	湊 和彦	伏見区
平成24年度 (89名)			
家村 正子	北区	森 政幸	伏見区
太田 徳夫	北区	森川 龍二	伏見区
後藤 光	北区	梅田 一美	向日市
庄村 浩一	北区	澤 秀一	長岡京市
藤井 豊	北区	結城 正典	長岡京市
山本 幸信	北区	小島 弘美	大山崎町
岡本 智恵子	上京区	森 邦子	大山崎町
加藤 豊	上京区	中澤 敬治	宇治市
田中 義仁	上京区	東 純一	城陽市
天野 静	左京区	廣畑 幸芳	城陽市
石田 満子	左京区	梶浦 純美代	八幡市
粉川 喜和	左京区	中村 政夫	八幡市
浜本 康夫	左京区	杉田 賢知	木津川市
藤森 幸一郎	左京区	井上 直美	久御山町
堀 治樹	左京区	岩瀬 多佳子	宇治田原町
小田 繁雄	中京区	栢木 喜文	宇治田原町
津田 大三	中京区	尾崎 洋子	精華町
大上 敏夫	東山区	西岡 幸子	精華町
澤田 淑子	東山区	堀口 紀代美	精華町
青山 佳広	山科区	宇佐美 年樹子	亀岡市
高田 弘幸	山科区	大倉 直也	亀岡市
長谷川 種子	山科区	木村 和子	亀岡市
平子 徳明	山科区	坪井 則子	亀岡市
廣島 康正	山科区	奥村 梨恵子	南丹市
三宅 孝子	山科区	磯部 源三郎	南丹市
宮原 真弓	山科区	坂本 勇	南丹市
渡邊 恵子	山科区	井関 雅子	福知山市
西村 孝司	下京区	堀 浩子	福知山市
平岩 進	下京区	夜久 眞由美	福知山市
西森 敏子	南区	横川 章	福知山市
花田 寿子	南区	佐々木 誠一郎	舞鶴市
饗場 くに子	右京区	井舎 正信	京丹後市
石田 和男	右京区	梅本 稔博	京丹後市
上村 美千代	右京区	田茂井 里美	京丹後市
谷脇 博之	右京区	松本 とし子	京丹後市
藤原 正典	右京区	水口 義治	京丹後市
増田 久美子	右京区	吉岡 和子	京丹後市
		森田 美砂子	宮津市

奥野 隆平 伊根町
足立 徹生 与謝野町
(計1,591名、敬称略)

※市区町村名、空欄は不明
※平成6年度～9年度、被表彰者の
記録なし
※京都市は平成16年度以降、行政
区を表示

京都府スポーツ推進委員協議会 歴代役員

年度	会長		副会長						理事長
S37・38	新国 貞三	舞鶴市	記録なし		記録なし			記録なし	
S39・40	新国 貞三	舞鶴市	野村 稔	長岡京市	記録なし				
S41・42	新国 貞三	舞鶴市	野村 稔	長岡京市	記録なし				
S43・44	広瀬 浩二	宇治市	中山 三好	峰山町	桃井 繁造	京都市	記録なし		
S45・46	広瀬 浩二	宇治市	中山 三好	峰山町	桃井 繁造	京都市			
S47・48	広瀬 浩二	宇治市	松浦和一郎	宮津市	桃井 繁造	京都市			
S49・50	桃井 繁造	京都市	藤崎 利雄	向日市	高木 茂	園部町			
S51・52	高木 茂	園部町	川本喜兵衛	京都市	野村 稔	長岡京市			
S53・54	西尾 正	京都市	高橋 昭治	福知山市	河原崎 進	大山崎町			佐藤 強三
S55・56	高橋 昭治	福知山市	山本 佐	京都市	馬場 友治	木津町			記録なし
S57・58	高橋 昭治	福知山市	山本 佐	京都市	馬場 友治	木津町		藤井 隆至	
S59・60	山本 佐	京都市	嶋田 隆男	峰山町	馬場 友治	木津町		山口 武志	
S61・62	馬場 友治	木津町	嶋田 隆男	峰山町	藤田 昭夫	京都市		木谷 豊	
S63・H1	馬場 友治	木津町	嶋田 隆男	峰山町	藤田 昭夫	京都市	木谷 豊		
H2・3	黒田清太郎	京都市	井上 陽男	宇治市	桜井 裕	舞鶴市	山本世志男		
H4・5	桜井 裕	舞鶴市	井上 陽男	宇治市	山下 正則	京都市	山本 誠三		
H6・7	桜井 裕	舞鶴市	井上 陽男	宇治市	山下 正則	京都市	山本 誠三 大野 伸一		
H8・9	桜井 裕	舞鶴市	井上 陽男	宇治市	山下 正則	京都市	大野 伸一		
H10・11	井上 陽男	宇治市	川隅富士夫	南丹市	山下 正則	京都市	坂本 憲三 京都市	大野 伸一 山木 孝之	
H12・13	井上 陽男	宇治市	川隅富士夫	南丹市	山下 正則	京都市	坂本 憲三 京都市	山木 孝之 山村 康夫	
H14・15	山下 正則	京都市	川隅富士夫	南丹市	小林 清和	京都市	奥西 康人 井手町	山村 康夫	
H16・17	山下 正則	京都市	川隅富士夫	南丹市	小林 清和	京都市	奥西 康人 井手町	山村 康夫 杉山 雅紀	
H18・19	山下 正則	京都市	川隅富士夫	南丹市	小林 清和	京都市	奥西 康人 井手町	川合 英之	
H20・21	川隅富士夫	南丹市	森本 豊	精華町	小林 清和	京都市	道下 善一 京都市	川合 英之	
H22・23	森本 豊	精華町	齊藤 昌久	南丹市	藤井 博志	京都市	道下 善一 京都市	越智 雅之	
H24・25	森本 豊	精華町	齊藤 昌久	南丹市	藤井 博志	京都市	小川原 繁 京都市	川村 隆史	

年度	常任理事						会計(事務担当)	
S53・54	豊田 豊司	京都市	嶋田 隆男	峰山町			都木 茂	
S55・56	藤田 昭夫	京都市	嶋田 隆男	峰山町			記録なし	
S57・58	藤田 昭夫	京都市	嶋田 隆男	峰山町			青柳 良明	
S59・60	藤田 昭夫	京都市	桜井 裕	舞鶴市			武田 功	
S61・62	黒田清太郎	京都市	桜井 裕	舞鶴市			八木 清友	
S63・H1	黒田清太郎	京都市	桜井 裕	舞鶴市			八木 清友	
H2・3	山下 正則	京都市	岸上 吉治	八木町			八木 清友	
H4・5	宮川 重和	京都市	岸上 吉治	八木町			長友三津男	
H6・7	記録なし						長友三津男	
H8・9	記録なし						長友三津男	
H10・11	杉原 幸雄	京都市	藤田 英夫	向日市			山木 孝之 山村 康夫	
H12・13	岩崎 靖信	京都市	奥西 康人	井手町			山村 康夫 大釜 広和	
H14・15	岩崎 靖信	京都市	坂井 保	京北町			川合 英之	
H16・17	岩崎 靖信	京都市	藤田 英夫	向日市			密谷 由紀	
H18・19	岩崎 靖信	京都市	三好 喜勝	長岡京市			木村三喜子	
H20・21	藤井 博志	京都市	齊藤 昌久	南丹市			松山 陽一 高山 康彦	
H22・23	小川原 繁	京都市	藤田 英夫	向日市	滝下香代子	綾部市	吉岡 毅 京丹後市 ※桐村憲昭 京宮津市	高山 康彦
H24・25	高月 裕子	女性委員長 久御山町	林 秀行	長岡京市	入江 一朗	福知山市	吉岡 毅 京丹後市	高山 康彦

※H22.8.19在任中に逝去

近畿、全国の研究協議会及び京都府の研究大会における開催地

年度(S・H)	近 畿	回	京 都 府	回	全 国	
35	1960			1	東京都(港区)	
36	1961			2	群馬県(伊香保町)	
37	1962			3	大阪府(大阪市)	
38	1963			4	静岡県(沼津市)	
39	1964			5	大分県(大分市)	
40	1965			6	埼玉県(川越市)	
41	1966			7	福井県(福井市)	
42	1967			8	長崎県(長崎市)	
43	1968			9	岩手県(花巻市)	
44	1969			10	和歌山県(白浜町)	
45	1970			11	鹿児島県(鹿児島市)	
46	1971			12	千葉県(千葉市)	
47	1972			13	茨城県(日立市)	
48	1973			14	三重県(伊勢市)	
49	1974			15	佐賀県(嬉野町)	
50	1975	大阪府(なにわ会館)【第1回開催】		16	青森県(青森市)	
51	1976	京都府(京都市・府立勤労会館)		17	長野県(戸倉町)	
52	1977	和歌山県(那智勝浦)		18	宮崎県(宮崎市)	
53	1978	滋賀県(彦根市民会館・彦根簡易保険保養センター)		19	栃木県(藤原町)	
54	1979	奈良県(文化会館)		20	滋賀県(大津市)	
55	1980	兵庫県(勤労会館)		21	島根県(松江市)	
56	1981	大阪府(府立労働センター)		22	群馬県(前橋市)	
57	1982	京都府(京都市・府立勤労会館)	15	南丹(亀岡市)	23	奈良県(奈良市)
58	1983	和歌山県(白浜町)	16	山城(久御山町)	24	鳥取県(鳥取市)
59	1984	滋賀県(ホテル紅葉)	17	北桑田(美山町)	25	山梨県(甲府市)
60	1985	奈良県(奈良市)	18	丹後(丹後町)	26	沖縄県(那覇市)
61	1986	兵庫県(文化会館)	19	乙訓(向日市)	27	京都府(京都会館)
62	1987	大阪府(大阪市・府立体育会館)	20	京都市(京都会館)	28	北海道(札幌市)
63	1988	京都府(京都市・府立勤労会館、府立体育館)	21	与謝(野田川町)	29	福岡県(福岡市)
元	1989	和歌山県(白浜町)	22	中丹(東舞鶴市)	30	石川県(金沢市)
2	1990	滋賀県	23	南丹(八木町)	31	山形県(天童市)
3	1991	奈良県	24	山城(宇治市)	32	香川県(高松市)
4	1992	兵庫県	25	北桑田(京北町)	33	愛知県(名古屋)
5	1993	大阪府(大阪市・国際交流センター)	26	丹後(網野町)	34	福島県(郡山市)
6	1994	(中止)京都府(舞鶴市総合文化会館、舞鶴文化公園体育館)	27	乙訓(長岡京市)	35	広島県(広島市)
7	1995	和歌山県(勝浦市)	28	京都市(北文化会館)	36	大阪府(大阪市)
8	1996	滋賀県(彦根市民会館・市民体育センター)	29	与謝(宮津市)	37	神奈川県(横浜市)
9	1997	奈良県(桜井市)	30	中丹(綾部市)	38	熊本県(熊本市)
10	1998	兵庫県(姫路市)	31	南丹(園部町)	39	富山県(富山市)
11	1999	大阪府(大阪市森之宮)	32	山城(宇治田原町)	40	宮城県(仙台市)
12	2000	京都府(宇治市文化センター、府立山城総合運動公園)	33	北桑田(美山町)	41	高知県(高知市)
13	2001	和歌山県(白浜町)	34	丹後(峰山町)	42	静岡県(静岡市)
14	2002	滋賀県(守山市)	35	乙訓(長岡京市)	43	埼玉県(埼玉市)
15	2003	兵庫県(神戸市) ※H16全体指開催により1年繰り上げ開催	36	京都市(京都テルサ)	44	岡山県(岡山市)
16	2004	奈良県(奈良市)	37	丹後(野田川町)	45	兵庫県(神戸市)
17	2005	大阪府(大阪市森之宮・門真市)	38	中丹(舞鶴市)	46	秋田県(秋田市)
18	2006	京都府(京都会館・西京極総合運動公園)	39	南丹(亀岡市)	47	大分県(別府市)
19	2007	和歌山県(白浜町)	40	山城(京田辺市)	48	新潟県(新潟市)
20	2008	滋賀県(大津市)	41	乙訓(大山崎町)	49	千葉県(千葉市)
21	2009	奈良県(橿原市)	42	京都市(京都会館)	50	山口県(山口市)
22	2010	兵庫県(神戸市)	43	丹後(京丹後市)	51	岐阜県(岐阜市)
23	2011	大阪府(大阪市・NHKホール)	44	中丹(福知山市)	52	東京都(新宿区)
24	2012	京都府(丹後文化会館・大宮社会体育館他4会場)	45	南丹(南丹市)	53	長崎県(長崎市)
25	2013	滋賀県 ※1年繰り上げ開催	46	山城(京田辺市)	54	和歌山県(和歌山市)
26	2014	奈良県 ※1年繰り上げ開催	47	乙訓	55	岩手県
27	2015	兵庫県 ※1年繰り上げ開催	48	京都市	56	愛媛県
28	2016	和歌山県 ※H25全国研究協議会開催により3年繰り下げ	49	丹後	57	福井県

全国・近畿研究協議会開催 回想（プログラム表紙より）


第27回
全国体育指導委員研究協議会

昭和61年11月19日(水)～21日(金)
京 都 会 館 他

主催 文部省・社団法人全国体育指導委員連合
京都府教育委員会・京 都 市
後援 京 都 府
主管 第27回全国体育指導委員研究協議会京都府実行委員会

平成6年度
近畿体育指導委員研究協議会

と き 平成7年2月3日(金)～2月4日(土)
と ころ 舞鶴市総合文化会館



主催 社団法人全国体育指導委員連合
近畿体育指導委員協議会
後援 文 部 省
和歌山県教育委員会・滋賀県教育委員会
奈良県教育委員会・兵庫県教育委員会
大阪府教育委員会・京都府教育委員会
舞 鶴 市
主 管 京都府体育指導委員協議会

「この事業は、日本の国体奉賛運動からスタートして、全国大会の発展を期して開催されるものです。」

平成12年度
近畿体育指導委員研究協議会

と き 平成13年2月2日(日)～3日(土)
と ころ 宇治市文化センター
山崎総合運動公園(大塚のび) 体育館・硬式テニスコート



主催 社団法人全国体育指導委員連合 近畿体育指導委員協議会
後援 文部科学省
和歌山県教育委員会 滋賀県教育委員会 京都府教育委員会
兵庫県教育委員会 大塚のび教育委員会 京都府教育委員会
宇治市 宇治市教育委員会
主 管 京都府体育指導委員協議会

昭和63年度
近畿体育指導委員研究協議会


と き 平成元年2月16日(水)～2月18日(金)

と ころ 全 体 会 場 (2月16日, 17日)
京都府立駒形会館
京都市中京区高丸通竹屋町上6
寓 住 会 場 (2月18日)
京都府立体育館
京都市北区大町東裏町4

主催 社団法人全国体育指導委員連合
近畿体育指導委員協議会
後援 文部省・和歌山県教育委員会・滋賀県教育委員会
奈良県教育委員会・兵庫県教育委員会
大塚のび教育委員会・京都府教育委員会
主 管 京都府体育指導委員協議会

平成18年度
**近畿体育指導委員
研究協議会**

と き 平成19年2月2日(金)～3日(土)
と ころ 京都府会館・西京極総合運動公園




主催 社団法人全国体育指導委員連合 近畿体育指導委員協議会
後援 文部科学省
和歌山県教育委員会 滋賀県教育委員会 奈良県教育委員会
兵庫県教育委員会 大塚のび教育委員会 京都府教育委員会
主 管 京都府体育指導委員協議会

京都府研究大会開催 回想（プログラム表紙より）

第37回

京都府体育指導委員研究大会

期日 平成16年6月20日（日）
会場 野田川町勤労者総合福祉センター
「野田川わーくばる」




京都府教育委員会
京都府体育指導委員協議会

第38回

京都府体育指導委員研究大会

期日 平成17年6月19日（日）
会場 舞鶴市中総合会館
舞鶴東体育館

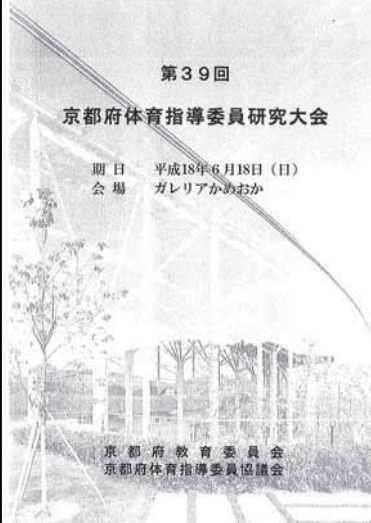


京都府教育委員会
京都府体育指導委員協議会

第39回

京都府体育指導委員研究大会

期日 平成18年6月18日（日）
会場 ガレリアかめおか

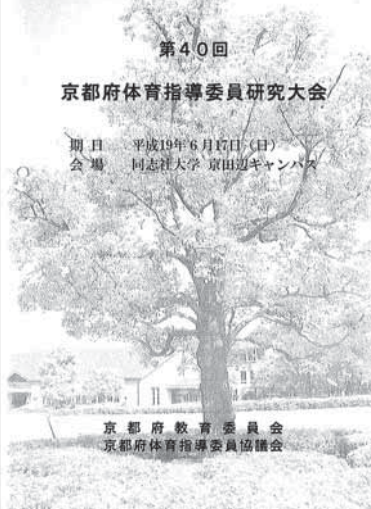


京都府教育委員会
京都府体育指導委員協議会

第40回

京都府体育指導委員研究大会

期日 平成19年6月17日（日）
会場 同志社大学 京田辺キャンパス




京都府教育委員会
京都府体育指導委員協議会

第41回

京都府体育指導委員研究大会

期日 平成20年6月15日（日）
会場 大山崎町体育館

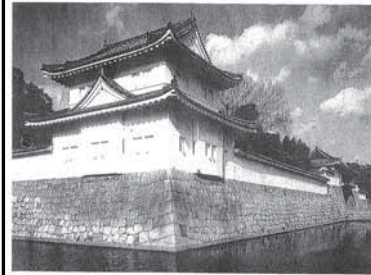


京都府教育委員会
京都府体育指導委員協議会

第42回

京都府体育指導委員研究大会

期日 平成21年6月27日（土）
会場 京都府会館会議場・京都市立錦林小学校体育館




京都府教育委員会
京都府体育指導委員協議会

第43回

京都府体育指導委員研究大会

期日 平成22年6月20日（日）
会場 アミティ丹後・網野体育センター体育室
八丁浜シーサイドパーク多目的芝生広場
（雨天時：網野北小学校体育館）



京都府教育委員会
京都府体育指導委員協議会

第44回

京都府体育指導委員研究大会

期日 平成23年6月18日（土）
会場 福知山市三段池公園総合体育館サブアリーナ
武道館剣道場・多目的グラウンド・総合体育館会議室
（雨天時：総合体育館メインアリーナ）




京都府教育委員会
京都府体育指導委員協議会

「京都府スポーツ推進委員協議会設立50周年記念」

第45回

京都府スポーツ推進委員研究大会

期日 平成24年6月24日（日）
会場 南丹市園部公民館大ホール・大研修室／中研修室
南丹市立園部小学校体育館、南丹市園部海洋センター体育館
京都府立園部高等学校体育館



京都府教育委員会
京都府スポーツ推進委員協議会

記念講演（第45回京都府スポーツ推進委員研究大会）

日 時 平成24年6月24日（日） 午前11時～午後0時10分
会 場 南丹市園部公民館 南丹市園部町上本町南2-22

【演題：「スポーツと健康」 講師：大阪医科大学名誉教授（元学長） 藤本 守 氏】
（抄録）

近年の我が国の社会情勢を眺めると、超高齢化、ストレス過剰社会、情報過剰、生活習慣病の増加、地球規模における自然・人工的環境の変化などが顕著である。今世紀は、20世紀末に驚異的に発展を遂げた遺伝子・神経研究・がん研究などの基礎研究の実績を実際の医療現場に適應する時期でもあり、特に、**心（こころ）**の研究（癒しの医療科学）が重要視されている。

さて、今日の国民の健康問題は、予防医学、治療医学、公衆衛生学などの進歩により、かなり改善され、保健体育状況に関しては、巷にスポーツ・ジム、スポーツ関連イベント（市民マラソン大会、スポーツ競技会など）が全国的に頻繁に実施されている。それらは、食糧事情の好転や医学の進歩という背景にあって、国民の**体力**の一種とも言える**“寿命”**が伸び、男女とも80歳を超えるようになった。将来、これらをどのようにして、更新していくかが今日の問題である。

なお、健康保持の体力（physical fitness）については、従来は、体力を「行動体力」と「防衛体力」に分けて考えてきた。前者は英語ではhealth related physical fitness、後者はphysical ability for defense となろう。行動体力は、行動の能力と技術・持続力、行動調整面を中心に、また、防衛体力は、物理化学的ストレス、生物学的ストレス（病原体など）、生理学的ストレス（筋力・心配機能、体温調節、体型調節など）、精神的ストレス抵抗力などが論じられてきた。

しかし、近年は“疾病抵抗性”＝**「免疫」**を増やすような医療手段が、多面的に採用され、その結果でもあろうが、国民の**「寿命延長」**に貢献したと言える。それでも、がんや血管障害、代謝障害などは、後を絶たず、病後の**QOL（生活の質）**の問題が残り、更に、**リハビリや作業療法学**なども系統化された。今や、出版や新聞広告業界も「健康」を抜きには、スポーツを語れなくなっている。

特に顕著な動向は、人が考える能力・記憶・判断力などの**“脳力”**がスポーツ機能に関わるとの観点であり、それは**“血液循環”**とか**“食質”**の改善によるエネルギー利用の変化だけでなく、運動に基づく脳の神経ネットワークの刺激**“やる気”**を起こさせ、“記憶”を更新させるという概念である。それは、単純に運動者本人の問題ではなく、**コーチの采配**や**“衣類”**（服・靴）によって、記録が更新された点である。生活環境も、無重量の世界など、人類が過去に経験しなかった問題も浮上している。結果的に、スポーツの記録更新の技術面についても顕著な進歩があり、それらに伴い、外傷や疾病抵抗力（**“免疫力”**）、更にトレーニングの効率化や精神的な強化が要求されるようになってきている。

健康の維持では、今回、特に高齢者の寿命問題を取り上げ、現在、超高齢者の**聖路加国際病院理事・名誉院長の日野原重明氏（101歳）の健康語録**を、また、過去、江戸時代（元禄年間）名古屋で活躍した俳人「横井也有」の健康十訓を、さらに、未来に向けて「青春」を語った「サミュエル・ウルマン」の詩を紹介し、私見を述べる。

日野原重明氏の健康語録

- 1 検査の数値に一喜一憂しない。
- 2 高齢者の数値が基準値から少々ずれるのは病気ではない。老眼や白髪は病気ではない。
- 3 健康は変わらないことではなく、環境に適應できることである。
- 4 健康は目標ではなく、行動の結果である。
- 5 健康には、生きる意味、生きがいが必要である。
- 6 健康を感じることは、数値より重要である。
- 7 人生とは、習慣、食事、運動、仕事、睡眠の仕方を見直し、今日から改める。
- 8 幾つになっても生き方を変えることは出来る。幾つになっても始めることを忘れない。

京都府スポーツ推進委員協議会創立 50 周年記念「座談会」

と き：平成 24 年 12 月 27 日（木） 午後 2 時～同 4 時
ところ：京都府公館 1 階 「レセプションホール」

参加者（常任理事会）	森本 豊	会長、藤井 博志	副会長、齊藤 昌久	副会長
（女性委員会）	高月 裕子	委員長（常任理事）、西村 禮子	副委員長（理事）	
（歴代会長）	山下 正則	平成 22 年秋藍綬褒章受章者（当日欠席により別途談話あり）		
（府教委）	川合 英之	保健体育課長（元理事長・事務担当者）、		
（事務局）	川村 隆史	理事長（総括指導主事）、高山 康彦	事務担当者（司会）	
（運営スタッフ）	佐竹 秀積	主査（写真、録音）、川口 研一	指導主事（記録）	

（※本文中は、敬称を略しています。）



<中庭を背景に記念撮影、左から高山、川合、高月、藤井、森本、齊藤、西村、川村、川口（敬称略）>

司会 只今より、京都府スポーツ推進委員協議会設立 50 周年記念「座談会」を開会させていただきます。

開会にあたりまして、森本会長から御挨拶をいただきます。

【開会挨拶】

森本 本日は、年の瀬でお忙しい中、寒さも一段と厳しさを増し、記念誌の発行に際しまして、座談会を開催させていただきましたところ、皆様には御出席いただきありがとうございます。日頃から本協議会に対しまして御指導、御鞭撻をいただき、この場をお借りしてお礼申し上げます。また、公私共に大変お忙しいところ、川合保健体育課長に出席いただき、ありがとうございます。川合課長は、元理事長・事務担当者としての様々な思い出や苦労話等もお聞かせいただきたいと思います。他の役員の方からは、これまでの経験や体験、スポーツ推進委員としての現状など、お話をお聞きできることを期待しています。限られた時間ではございますが、和やかな雰囲気です座談会が進められたらと思います。

司会 それでは、最初にお断りさせていただきますが、平成 22 年秋の藍綬褒章を府の体育指導委員としては初めて受章されました山下元会長は、2 日前に欠席の連絡が入り、森本会長と相談させていただき、御本人にも承諾を得て、年明けにお話を伺い、記念誌に談話という形で掲載させていただこうと存じますので御了承ください。

【スポーツ推進委員としてはじめて委嘱された頃から現在までの地域スポーツ振興について】

司会 では、今年度から理事長として皆さんと関わらせていただいている川村総括指導主事から口火を切ってい

ただいて、以後は、スポーツ推進委員歴の長い方から森本会長 35 年、西村女性副委員長 31 年、斉藤副会長 29 年、藤井副会長 27 年、高月女性委員長 21 年の順で、最後に川合課長からお願いしたいと思います。

川村 今年度から、本協議会設立 50 周年の大きな節目の年に理事長を仰せつかり、色々と勉強させていただきありがたく思っています。それに加え、今年は大当たりの年、中ブロックの連絡協議会の事務局が北陸・東海・近畿 2府 12 県の中で回ってきて、また、近畿の研究協議会も 6 年振りに開催することになり、3 つの大きな事業が重なった年となりました。会長はじめ役員の皆様には大変お世話になっており、感謝申し上げます。また、出席の皆様は、森本会長の 35 年を筆頭に長きに渡って地域スポーツの振興の要として活躍されたことに対して、お礼申し上げる次第です。この機会に、是非、これまでのスポーツ推進委員としての思いや考え、苦労話やエピソードも含めてお話をいただき、少しでも府協議会の歴史をこの場で振り返らせていただけたらと思います。



森本 元々は地域の体育委員がスタートで、精華町の体育協会の役員をするようになり、バドミントンをしていたこともあって、何とか地域にバドミントンクラブをつくりたいと思うようになりました。そして、教室を担当するようになり、連盟を組織することも考えていましたが、その後、バドミントンの指導ができるのであればと体育指導委員を勧められ、数名で教室を運営するようになりました。当時、一番辛かったのは、町民に体育指導委員が認知されておらず、浸透していなかったことです。子どもたちの指導を始め、PRを図り、少しずつ認知されるようになりました。

最近では、文部科学省の子どもの体力向上実践事業を 15 名の体育指導委員の体制で 3 年間実施してからは、地域に認知されるようになり、一つの方向性が確立されました。現在も月に 1 回、子どもたちにニュースポーツ体験教室等を実施しています。町内には 5 つの小学校がありますが、その中にスポーツ推進委員が入って事業が実施されていることが、わが町のスポーツ振興の大きな流れとなっています。



西村 体育指導委員になった当時は、亀岡市を 8 ブロックに分け、地域から市へ推薦がありました。「誰でも、どこでも、気軽に」のキャッチフレーズの基に活動していたのを覚えています。また、保津川河川敷でニュースポーツとして普及してきたゲートボールの指導をしていました。2 巡目の国体の時に、数多くのニーズに応えるように研修を月 1 回実施することが決まり、資質向上に努めてきました。

昨年度、スポーツ推進委員功労者文部科学大臣表彰と全国連合の 30 年勤続スポーツ推進委員表彰を同時にいただいたことがとても感激したことであり、また、スポーツ推進委員として活動する上でプレッシャーを感じています。



齊藤 本日の出席者の中で 3 番目に委員歴が長いには驚きました。昭和 59 年に当時の行政担当者から勧められて体育指導委員に就任し、八木町では 10 名でした。スポーツ振興法とか中央教育審議会答申を読んで勉強しましたが、結果的に「体育指導委員って何?」「行政の手助け?」と短絡的に捉えていました。

1980 年代の頃には、スポーツ振興は今よく言うところの「人・もの・金」ではなく、「施設、指導者、組織、プログラム」が有機的に繋がらないとスポーツ振興にならないと言う考えに習って、八木町に足りないものは何なのかと体育指導委員が集まり議論した記憶があります。町には体育振興会はありましたが、体育協会がなく府体協の指導もあり、行政担当者の指導のもとで体育指導委員が検討をし、報告書にまとめました。それで、平成 8 年に南丹地区では最後に体育協会が発足しました。

体育指導委員の任命は、昭和 58 年頃は一本釣りでしたが、体育協会が設立されたこともあり、小学校区の振興会から推薦を受けるようになり、組織の中で一緒にやっということになりました。今もスポーツ推進委員は、コーディネーターと言われていますが、当時から実技指導だけではだめで、幅広く活動すること、審議会的な役割を果たすことも体育指導委員としての役目として捉え、組織をつくることについても当時の社会体育の担当者と共にやってきました。

4 町が合併し南丹市となってからは、4 町とも地域スポーツ振興の組織はそれぞれありました。実技指導が中心になっていましたが、「もの・金」のところで、特にもの(施設)が繋がれば活性化すると考えていました。川隅元会長もよく言っておられました、スポーツは波のようなもので上の時もあれば下の時もあり、波の上の方に乗っていれば良いが、人気のあるスポーツを紹介しても廃れればやめて新しいものを紹介するようにしています。

体育協会との繋がりについては、なかなか難しいとは言うものの、体育協会の理事にスポーツ推進委員の会長も入り、連携できるようになっています。



藤井 地域でスポーツに携わった切っ掛けは、昭和56年頃に町内の体育振興会の委員になってからですが、スポーツとの出会いは、中学校から軟式テニスを始め、高校では国体の補欠選手として参加したことにあります。サラリーマンになってからは、一時離れていましたが、地域で子どもがお世話になるようになってから自分自身も活動するようになり、体育指導委員になるように頼まれ、土日に活動すれば良いぐらいにしか思っていませんでしたが、平日に講習会もあり大変な思いをしました。2年目に京都国体がありましたが、府庁前から距火リレーがあり交通整理員をしました。その後、北区の幹事、幹事長と役職に就くようになりました。

6年前に京都市で近畿の研究協議会を開催した際には、京都市の3役は3人だったのですが、山下元委員長が1名増やしたいということで北区幹事長5年目に副委員長をさせていただきました。その当時、河井さんという女性委員からは女性の時代だよと言われていましたが、京都市の体育指導委員の半数は女性なのに市の代表委員はほとんどが男性でした。北区から女性委員を代表委員として連れて行けるのであればと幹事長を引き受けることにしました。

府の理事になり、全国大会へも参加するようになって考え方が変わってきました。京都市には体育振興会連合会があり、11行政区の会長が事業を組み立て、スポーツ推進委員は運営面だけ携わる状況で、魅力あるものではありませんでした。そこで、何かを変えたいと思い、やっていて楽しいというものをやりたいと考えた結果、レベルの高いところでの審判講習会を実施するようになりました。そこで、65歳定年制(延長規定あり)のあるスポーツ推進委員を辞めてからでも、人材を求められる総合型地域スポーツクラブ(以下、総合型クラブ)に目を向けないといけないと思うようになりました。

地元では、支援しているサッカースポーツ少年団があり、小学1年生から中学3年生が団員として在籍しています。小学6年生と中学3年生で卒団できるシステムになっており、小学5年生が低学年の子どもを指導し、中学3年生になればOBの高校生が家庭教師をして学習面をサポートしてくれます。そして、高校生ではサッカーに打ち込む環境が整い、大学生になったら指導者として地元に戻ってくる形がありますが、昭和26年から発足したクラブチームから脈々と受け継がれてきており、それが総合型クラブとしての在り方の1つであると思っています。子どもから高齢者までが関わられるクラブが総合型クラブであり、京都市でも総合型クラブを推進していきたいのですが、現在の京都市のスポーツ推進施策を進める立場としては、行事が多すぎて無理です。でも、地域に戻って活性化することが必要で、次代の指導者を育成し、少年スポーツクラブを主体とした取組を総合型クラブへと発展させていきたいと考えています。スポーツ推進委員は競技会運営や実技指導だけが務めではないと言うことを他の地域のスポーツ推進委員にも話をしています。但し、京都市の委員長として、体育振興会連合会の事業を卒なくこなすことが現実であることは、認識しています。



高月 女性委員会は、山城では平成7年に発足し、体育指導委員になって間なしの頃でした。地元では、最初は審判が主な活動で、バレーボールやソフトボールの大会に関わっていました。

久御山町では、町をあげた運動会があり、年に1回スポーツ推進委員が総出で運営しており、それが一番の仕事です。運動会は、自治会単位の対抗戦なので、町中が真剣に練習をしています。綱引きならトラクター相手に練習し、リレーなら農道にバトンゾーンを引いて練習をしています。府の「ギネスに挑戦」にも参加して、1年を通じて公園などで練習していますが、これも生涯スポーツの取り組みの1つと考えています。

小学校ではドッジボール大会をしています。学校の先生を通じて参加申込をするのではなく、子どもたちがクラスで自ら募っています。小学4・5・6年生の各男女がチーム分けをして優勝するとメダルがもらえ、それを目標にしています。加えて、各小学校へスポーツ推進委員が出向き、ドッジボール指導を出前教室として開催しています。そこへ保護者も来るので、興味を持ってもらえる方を巻き込んで、「いきいきスポーツ教室」を夜に小学校の体育館でしていますが、今はキンボールを中心に教えています。取り組んで2年目で、親子で楽しんでもらえています。地域の中高年の方々には、あまりしんどい種目を実施せず、少し汗をかく程度のニュースポーツを設定すると参加してもらえるようになります。

町は、体育振興会より体協の活動が活発で、体協は既存のスポーツをされている方が集まって組織されており、京都国体を機につくられました。山城の女性委員会では、お金がかからないような種目を毎年考えて実践し、子どもから高齢者まで取り組めるような種目の開発をしています。

町では他にも、スポーツバンク登録の取り組みをしており、要請もありスポーツ推進委員 13 名中4名がスポーツバンクに登録することになりました。地域のコミュニティースクールでニュースポーツ指導をしているのですが、スポーツ推進委員の4名については、スポーツバンクから派遣されていることになっています。



川合 府教委保健体育課に 10 年前に赴任し、初めて担当させていただいたのが体育指導委員協議会で、様々な方にお世話になりました。それまでの高校教育の現場では競技スポーツの指導者をしており、1つの専門競技を追求していました。担当した当時から体育指導委員は、組織的に動かされていて、地域単位に対象にされる年齢層も幅が広く、あらゆるスポーツの実技指導と地域での連絡調整や大会運営などコーディネート力を発揮しなければならず、仕事は多岐にわたっていました。京都国体の時には、各競技の補助員や大会の運営協力等に従事されていたことや私自身が事務局の仕事をとおして、地域のスポーツ振興におけるスポーツ推進委員が果たす役割を理解し、府のスポーツ振興のためには、スポーツ推進委員の皆さんと府教委とが一緒にやらせていただければならないと痛感しました。

また、色々な年齢層の方とのお付き合いをしながら、観点は女性、中高年者から高齢者まで及んでいますが、府教委といたしましては子どもの体力向上に目を向けていただき、老若男女全てに対象を広げるような研修を積んでいただきたいと思います。そして、学校と地域の連携の重要性が叫ばれている中であって、子どもは地域の一員であることを鑑み、スポーツをアイテムとして、連携を図られていることに感謝していますし、活動を継続していただきたいと思います。

司会 事務局を担当させていただいて4年になりました。当時は川隅会長が就いておられ、川合課長が総括指導主事(理事長)でしたが、2つ懸案事項がありました。それは、府協議会事業を維持、発展させていくための「分担金の増額」と全6ブロックの理事で常任理事会を構成するための「常任理事の増員」でした。4月に川隅会長が突然病気で倒れられ入院、当時の道下副会長、森本副会長には年2回の近畿会長会の対応をしていただいたり、小林副会長(京都市委員長)には会長代理をお世話になり、理事会、常任理事会を仕切っていただき、全国と近畿の研究協議会の対応もしていただきました。1年目に充実した仕事をさせていただいたわけですが、年度末の理事会では規約改正をし、次年度に役員改選期を迎えていましたので、3名の副会長さんと「今後の府協議会をどうしていくのか」について協議しました。その後、森本会長に就任いただき、現在2期目をお世話になっていますが、2年前の就任当初から今年度の中ブロック及び近畿の会長と設立 50 周年が重なることについては、覚悟はしていただいていたと思います。今年度は、まだこれから近畿の研究協議会の準備、記念誌の発行や設立 50 周年記念祝賀会の開催等行事が続きますので、御協力をお願いします。

【昭和 61 年（1986 年）開催の第 27 回全国体育指導委員研究協議会について】

司会 今年度、長崎大会が開催されました全国の研究協議会を2巡目の京都国体開催の2年前に京都市・京都府会館を主会場に開催しています。毎年都道府県持ち回りで開催される大きなイベントですが、参加された方がおられましたらよろしくをお願いします。

森本 参加はしていたと思いますが、あまり記憶がなく、雑役をしていたような気がします。

西村 亀岡市は国体のバスケットボールとラグビーを担当しており、開催の2年前から運営協力のために、ルールを覚えたり、準備に大忙しでした。

森本 当時、山城ブロックの馬場会長が府の会長に就いておられ、動員が掛かって参加したことは覚えているのですが、馬場会長も1月に亡くなられており、お話を聞けないので、今日欠席の山下元会長が御存知ではないかと思います。

司会 当時の大会プログラムが1冊だけ残っていて、ここに持参しましたが、開会式次第には、挨拶に文部省体育局長、全国連合会長、府教育長、歓迎の言葉に府知事、京都市長が務められ、閉式の言葉を府協議会会長がされています。今は開会の言葉を開催県の会長が担当していますので、進行の方法が違います。

川合 全国研究協議会が国体の2年前に開催されているのは、国や文科省の考えでは、この機会にスポーツ推進委員の組織を固めていただいて、様々な分野で運営に携わっていただかなければならないので、スポーツ推進委員の資質向上という意図があると思います。

齊藤 京都国体の開催は、スポーツ施設が充実したことも成果の1つだと思いますが、現在は、老朽化が進んでいます。

川合 スポーツボランティアが生まれたのもその頃です。競技スポーツの指導者をやっていた頃、国体会場のあ

った南区の体育指導委員や体育振興会の方々に本当にお世話になり、ホスピタリティーの精神で尽力していただきました。

司会 全国研究協議会京都府大会の開催のことについては、年明けに山下元会長にお話を聞かせていただきたいと思います。

【昭和50年（1975年）大阪府から開催されるようになった近畿スポーツ推進員研究協議会について】

司会 近畿の研究協議会は、昭和50年の大阪府の当番を皮切りに6府県が持ち回りで開催をしています。第2回は京都府での開催のはずなのですが、資料を遡っても開催地・会場が分かりませんでした。これも山下元会長に記憶を辿っていただきたいと思っています。



府では、記録によると京都市開催が2回続き、平成6年度の舞鶴市開催では、阪神・淡路大震災の影響で直前に中止となっています。その後、宇治市、京都市と開催地を巡り、2年前には開催地の調整をした結果、府は南部、京都市、北部と3地域のローテーションで開催地を担当することになり、今年度は京丹後市で開催する運びとなりました。

それでは、近畿の運営等について、苦労話やエピソード等お聞かせいただきたいと思います。

川合 阪神・淡路大震災のときには実施するべきかどうか大変苦慮され、検討されたようです。開催することで元気になるってほしいという意見もあったようですが、直前まで待つて開催を見合わせたと聞いています。

西村 大会プログラムも出来上がっていたと聞いていますが、最終的に中止を判断されました。

森本 当時の櫻井会長（中丹ブロック・舞鶴市会長）から理事会の中で、かこのシーズンでもあるので是非来てもらいたいと強調されていました。

司会 今回の開催地については、当初、北部地域の中丹地区の方で検討していましたが、18年前には舞鶴市で開催したものと同一扱いであるとの認識があり、期日を1か月遅らせる条件で丹後地区の京丹後市開催に落ち着いた経過があります。

高月 前々回、平成12年度の宇治市開催の際は、山城の女性委員会で分科会を担当し、ディスカッションの後、フォークダンスをして交流をしました。

西村 当時、峰山町の女性委員の方で矢野先生、川合課長は御存知ではないですか。

川合 元教員で社会教育主事の矢野さんですね。

西村 女性委員の中では年配の方で、その頃の府の女性委員会は、情報交換程度の活動だけでしたが、矢野先生は「男性だけでなく、女性の力が必要だ。」と力説をされ、共感させられました。

川合 京都市の女性委員の河井さんもそのようなことをよく言われていました。

高月 当時、その分科会には男性は参加できず、女子しか入れない分科会として運営をしました。幾つかのグループに分かれ、サブアリーナで車座になってディスカッションをしました。特に、新人の女性委員からは府県を越えて様々な悩み事が寄せられていました。最後のところで、みんなでフォークダンスをして終わりました。

藤井 当時は相対的にスポーツ推進委員組織の中では、男社会だったと思います。

高月 近畿の分科会で新人の女性委員を集めてディスカッションすることが必要なのかと指摘もされましたが、「ベテランの女性委員には、新人の女性委員の悩みは分からないところが多いと思うので、新人さんに多く参加してもらって、色々な悩みを聞くようにすることに意味がある。」と、その必要性を訴えました。

藤井 河井さんは、定年でスポーツ推進委員を退かれ、その後は体育振興会の会長をされています。京都市では毎年6月に11行政区対抗のソフトバレーボール大会があって、区長と体育振興会の会長しか出場できない大会なのですが、参加されていました。

司会 6年前の京都市で近畿の研究協議会を1日目に京都会館、2日目に西京極の京都市体育館において開催されていますが、その時の運営はどうでしたか。

西村 とにかく、時間に追われたのを記憶しています。

藤井 1日目と2日目とで会場地が異なり、1日目から準備等で移動をするのが大変だったと思います。

森本 1日目の京都会館では吹雪で、寒かったことを覚えています。

高月 当時は運営スタッフとして、全国連合のグッズ販売の担当をしていて、通りがかりの人に声を掛けて10万

円ほど売り上げたと思います。

西村 その年の6月に亀岡市で府の研究大会があり、司会を担当しました。その縁もあって近畿でも司会をさせていただくことになりました。

齊藤 当時の担当者も府の大会が終わった時には、近畿の司会を西村さんをお願いしたいと言っていました。

西村 本当に色々と経験をさせていただき、居心地が良い思いをさせてもらっています。

司会 6年前の経験を生かしていただいて、今年度の近畿も司会をお世話になりますが、よろしくお願いします。

【近年（過去2年程度）の状況について】

司会 平成22年度から、府協議会の負担金を増額し、常任理事事に全6ブロックから選出理事が参画していただき、現在の事業の維持・向上が図られ、功労者表彰の継続と研究大会の内容の充実、新規事業の女性委員会ブロック交流研修会の開催等が実現してきました。また、今年度から全国連合が公益社団法人の認定に伴う個人会費500円の徴収もありましたが、近年の変遷、動きの中でこの場でお話をさせていただくことがあれば、よろしくお願いします。



藤井 先日、五大都市大会がありました。レセプションに横浜市の委員長が遅刻されてきましたが、それは、神奈川県全スポーツ推進委員が全国連合の普通会员登録をせず500円を払っていないため、全国表彰を受けられないので同日に横浜市独自の表彰式をしていたとのことでした。横浜市の委員長からは、個人でお金を払ってでも全国連合に普通会员として参画したい人がいると聞きました。

京都市でも各行政区の代表委員には説明していますが、各区で全スポーツ推進委員にまで伝わっているかは疑問が残ります。会費500円については、報酬から天引きして納付しているので問題はありません。

齊藤 全国連合の定款では、個人として趣旨に賛同した人が入会し会費を納めるのであって、個人の意志を尊重する必要があるのではないかと、スポーツ推進委員は全員会員登録する必要はないかと考えています。

森本 神奈川県では、この問題は行政の問題ではないという認識だと聞きましたが、次年度からは、加入される方向と聞いています。

全国の表彰基準には、手帳購入とみんなのスポーツ購読が条件に入っています。普通会员制導入に際しては、全国連合の総会で以前からその条件を外してほしいと提案してきましたが、実現していません。本来、スポーツ推進委員の表彰は地域スポーツの振興の貢献が評価されるものであって、手帳購入等の条件が満たされるから表彰されるものではないと思っています。

齊藤 ただし、全国連合の立場からは、手帳や機関誌については、情報源であり資質向上に繋がるツールであるとの認識が強いと思います。

司会 次に、最近活躍していただいたこととして、府内の全スポーツ推進委員にお世話になった「京都府民のスポーツに関する調査」の実施と「スポーツごころ実感チャート」の配布があると思います。チャートのリーフレットは、スポーツ実施率の向上を目指して、運動・スポーツに縁のない方々に着目して、試作の段階から常任理事会や女性委員会で意見をいただき、今年3月のスポーツ推進審議会の提言を受けて作成したものです。実際に府民の方々に配布していただいた際の状況や反響をお聞かせいただければと思います。

西村 調査の作成については、項目が多く大変な作業だったと思いますが、実際にする側からは、設問が多く順番も先に行ったり戻ったりで、最後までなかなかとどろ着かないので、途中で意欲がなくなり、大変だったと多くの方から聞きました。もう少しざくっとした内容で聞いてもらえた方が真剣に考えられ、設問に取り組めると思います。また、調査後の結果を統計として示されるのでしょうか。

川合 統計資料として冊子を作成し、各市町村を中心に配布し、保健体育課のHPにもアップします。

齊藤 リーフレットは当初、検討していた頃から比べ、叩いてもらってかなり良くなったと思います。

司会 こういう取組を進めることで、平成26年度からスタートさせる新たな府のスポーツ推進計画の策定に繋がっていくものだと思います。森本会長は、スポーツ推進審議会委員であり、今回の計画策定に関わる検討小委員会のメンバーとして地域スポーツ推進の観点から意見をいただくことになっています。今回の府内全域にわたるスポーツ推進委員の取組が、後々の府のスポーツ推進に寄与していくことになります。また、府協議会設立 50

周年の年、スポーツ推進委員の歴史に新たに刻み込まれ、この取組は、記念誌にも掲載したいと思います。

【今後の展望について】

司会 それでは、最後に今後の展望について、地域スポーツの推進と府協議会との関わり、或いは、府協議会が目指すべきものなど、述べていただきたいと思います。

高月 スポーツという言葉に構える方もおられるので、捉えかたとしては、体を動かすことが基本で、歩くことも軽スポーツも子どもとドッジボールをすることもそうだし、既存スポーツだけではなくて、もう少し汗をかくことが大切だと思うので、きっかけづくりをしなければならないと思っています。総合体育館は既存スポーツに、学校の体育館もクラブチームに押さえられて



ているので、利用するのが大変です。ちょっとした体操や運動だったら教室でもできるので、そういったところから見直してやっていきたいと思っています。中高年の女性は、エアロビクス、ヨガ、太極拳やフラダンスなどよくされています。問題は、定年退職されている男性をなんとか運動・スポーツに引き込むことが必要であると思っています。

各小学校にあるコミュニティースクールにスポーツ推進部会がある小学校があつて、男性を中心にやっていて、皆さん保護者なので期待が持てますので、これから大いに宣伝したいと意気込んでいます。そして、近い将来には3つの小学校のコミュニティースクールにスポーツ推進部会が組織されるように、スポーツ推進委員として投げかけていきたいと思っています。

藤井 今、陸上競技を小学生に指導しています。京都市内では小学校対抗の大文字駅伝があり、それに参加できない、予選落ちする子どもを70名程集め、体育振興会が主催して教室をしています。京都御苑の周りをコースとした元旦ロードレースがなくなったことから、大人から声が上がリ、上賀茂地区だけで加茂川河川敷で元旦ロードレースを体育振興会が実施するようになりました。毎年200名ぐらいの参加者があり、基盤となっているのが子どもたちなのです。子どもが走ると親がついてくるようになります。夜ナイターで毎週月曜日に練習していますが、親は必死で応援しています。

参加者の門戸を広げるためには、チャレンジ、レギュラー、チャンピオンなどにランク分けをして、参加しやすい方法を考たり、ボウリングでもプロ級から初心者まで出場していますので、フックボールを掛けられないハウスボールを使うなどいろいろな工夫をしてきました。

スポーツ推進委員は、平日頃から知恵を育み、努力をする必要があります。各種事業を盛り上げ、人を集める工夫をし、スポーツ愛好者の底辺を広げ、総合型クラブにも繋がるように今後とも、スポーツ推進委員としての活動の場を広げていきたいと思っています。

齊藤 個人レベルの現場の面と府や市など組織的な側面があると思います。個人レベルでは様々な工夫が必要だと思いますが、組織的な面として、府としてどんなスポーツ推進委員を育成するのか、そのためにはどうしなければならないのかといった視点が重要になると思います。本当にコーディネーターでよいのか。所属する市町では活動内容は少しずつ違っても、スポーツ推進委員として進むべき方向性は一緒だと思いますので、府協議会としても考えていかなければと思っています。

それともう一つは、経営の場面でよく言われるPDCAサイクルの取組が重要であると思います。こういう情報交換をすることでチェックした事実や根拠が出てきますので、それらを参考にして次の活動に繋がる仕組みをつくれたらと思っています。また、毎年の研究大会も講演、事例発表と実技研修だけで良いのかなと思いますし、内容ややり方もあれでよいのか、同じでも良いのですが、一回立ち止まって考えることが大切であると思います。

スポーツ推進委員の将来のあるべき姿はどうか、一言で言うと「スポーツ環境のマネジャー」です。いわゆる「人・もの・金」を工夫してどのように生かしていくのか。1人で全部できなくても、できる人を集めてくることもマネジャーとしての役目なのかと考えています。

最後に、スポーツ推進委員は、日々の活動においてその都度、「本当にこれでいいのか？」と自問自答して、考えて見るのが大切なことだと思います。

西村 個人的に工夫することとして、スポーツに関心のない方、子どもや中高年の方々にいかに魅力あるスポーツへ参加を促すかだと思っています。競技スポーツのクラブで活動をしている子どもたちは多いのですが、そう

でない子どもにスポーツの楽しさを伝え、どのように引き込むかが問題だと思っています。

亀岡市では、スポーツ体験教室を開催していて、お知らせに載ったら直ぐに100名ほど集まり定員一杯になりますし、子どもにも保護者にも人気があります。スポーツ推進委員は、日々の活動の他にも出前指導で地域、学校や諸団体に指導に行っています。先日、ある小学3年生にドッジビーの指導をしました。後日、「ルールがよくわかった。」「楽しかった。」「お母さんと一緒にプレーできてよかったと。」「・・・とメッセージをスポーツ推進委員あてに届けてもらいました。とても嬉しく思いましたし、この活動を続けることが地域のスポーツ活動の場を広げ、底辺を広げることになると思っています。また、これからは多様化する住民のニーズに対応できるように工夫とか研修を重ねていくこと、技術とか知識を習得していくことが大切になってくると思っています。

最後に、先ほど齊藤副会長がお話になった中で、府として、行政としてどのようなスポーツ推進委員を求めているのか、望んでいるのかというフレーズが胸に響きました。委嘱している市町村としては、地域と密着して活動しているスポーツ推進委員の在り方や役目を明確に意思表示してもらいたいと思います。

齊藤 先にも述べましたが、このことは、行政レベルの責任においてお願いしたいと思います。

川合 まとめの前ですが、次の府のスポーツ推進計画策定にあたり、今お話いただいていることは、しっかりと盛り込んでいきたいと思っていますし、森本会長からも検討小委員会等で御発言いただけるものと思います。もちろん、皆さんに御意見を聞きながらですが、スポーツ推進委員がこれからどのような方向性で活動していただくのか、お示しさせていただきたいと思います。

齊藤 これまでは、スポーツ推進委員の明確な姿が示されてこなかったと思います。これまでは、現場で考えて対応してきているのが現状で、これからは、行政としてスポーツ推進委員を効率良く効果的に働いてもらおうと思えばもっとやり方があるとしています。

川合 厳しい御指摘をいただき、ありがとうございました。

森本 地元ではスポーツ教室開催を月1回ずつと開催していますが、参加者が固定化されてきているのが現状です。競技スポーツは協会に任せて、スポーツ推進委員はニュースポーツを重点種目として取り組み、参加者を増やすようにして行きたいと思っています。

最近になって、スポーツ推進委員会の中にスポーツ教室部会、新規スポーツ部会及び広報部会の3つの部会を立ち上げました。まずは、スポーツ教室にて入入れをしようとする方向性を決めて、広報部会の提案でアンケートを実施することになりました。新規スポーツ部会では、今は待っていて参加者を募る時代ではないので、スポーツ推進委員が学校、地域の公園や集会所など様々な施設に出向いていって活動の場面を増やし、スポーツ人口を増やしていこうと考えています。また、スポーツ教室の内容を変えることを検討しており、4月からスタートする予定です。他には、保育所の母親からの要望でドッジビーやソフトバレーを町体育館や小学校の体育館で教室をするようになり、そこには必ず幼児も一緒なので、母親とは別に子どもたちにニュースポーツ体験をしてもらっていたところ好評で、ニュースポーツの用具の貸し出しの要望も出てきましたので対応するようにしています。これからは、門戸を開いて、要望があればどんどん訪問していきたいと思っています。

これからも、町全体の行事はスポーツ推進委員会と体育協会がお互い協力して運営にあたり、連盟があるスポーツ以外のニュースポーツを通じた地域スポーツの推進はスポーツ推進委員会が進めて行きたいと思っています。

【まとめ】

司会 それでは、最後に川合保健体育課長からまとめをお願いします。

川合 まとめと言いますか、先ずはお礼を述べさせていただきます。本日は、お忙しいところ御出席いただきありがとうございました。懐かしいお話もあり、今後の展望も聞かせていただきまして、とても有意義な座談会にさせていただきました。また、今日の内容が記念誌に掲載され記録に残ることで、後任のスポーツ推進委員の方々にとって、参考にしていただけるものと存じます。皆さんの活動は、地域というキーワードをとても大事にされており、子どもから高齢者まで幅広い年齢層を対象にさせていただくことについては、これからも変わらないと思います。

昨年の3.11 東日本大震災を経まして全国的には「絆」と表現されていますが、人と人との「つながり」が大切であり、社会に必要なことが再認識されました。スポーツをとおして、どのように「つながり」を持ってもらうのか、考えていくことが大事であると思います。スポーツ推進委員の皆さんには、「絆」や「つながり」を深め、子どもたちに将来の展望を持たせられるように、日々の活動をしていただければと思っています。

また、齊藤副会長から御指摘をいただきましたように、今後、スポーツ推進委員の方向性を明確にして行きますので、府のスポーツ振興はもとより、府民の人づくり、子どもづくりに御協力いただけたらと思います。

最後になりましたが、お手元のリーフレットに6つの「こころ」が示されているように、「つながり、挑戦、健康、感動、楽しみ、目標」については、今日のお話にもありましたように、既に皆さんは、それらの気持ちでもって日々の実践をされているわけですが、今後とも「スポーツごころ」を大切に活動の輪を広げていただければと切に願っています。

【当日欠席された山下元会長から 1月8日に府教育庁内会議室でお話を聞きました。】



山下 座談会当日は急な欠席で失礼いたしました。現役員の皆様とお会いしてお話が弾むところを想像していましたが、今日は私なりにお話しさせていただきたいと思います。

体育指導委員としてのスタートは、昭和45年まで遡ります。当時は社会体育指導委員として委嘱され、定年の65歳まで38年間体育指導委員を務めました。平成14年度から川合保健体育課長が府教委に赴任された時と重なりますが、最後の6年、府の会長をさせていただきました。京都市ではスポーツ振興法が制定される10年以上前の昭和26年から独自に体育指導員制度を設け、当初は校区に1人置くようにしていました。その後、名称を社会体育指導委員に改め、昭和36年のスポーツ振興法の施行後も社会体育指導委員として活動を続けました。昭和45年からは校区2人制に移行して委員数が倍増し、平成5年度からは、スポーツ振興法に基づく体育指導委員として委嘱されるようになりました。昭和59年からは、市民スポーツ婦人普及員制度が設けられ、社会体育指導委員とは別に校区に2名置かれるようになりました。昭和63年開催の京都国体までは、その準備や運営、マ스ゲーム等に活躍してもらったのですが、国体終了後は活躍の場が狭められました。その後、平成5年度から社会体育指導委員と同様に体育指導委員として委嘱、活動するようになり、体育指導委員の約4割は女性となりました。現在は、校区の住民数により委嘱できる定数を設けています。

近畿の研究協議会の開催は、6府県の持ち回りでしたが、当初は京都市で開催していました。昭和51年の第2回は府立勤労会館が会場だったと記憶しています。府の理事でしたので、運営には携わっていました。その後、昭和57・63年度と京都市で開催し、平成6年度には舞鶴市で開催準備を進めていましたが、阪神・淡路大震災の影響で中止となりました。大会冊子もできあがり、直前まで開催するつもりでしたが、行政サイドからストップがかかり、残念な思いをしました。

全国の研究協議会は京都国体の2年前に京都会館を主会場に開催、運営スタッフとして参加していましたが、内容まではよく覚えていません。当時の全国連合の藤田正明会長は広島県選出の参議院議員でした。それ以前は都道府県の会長から選出していましたが、文部省と折衝のできる人材が必要であると国会議員にお願いするようになった経過があり、以降も同じく参議院議員で御子息の藤田雄山会長、静岡県選出衆議院議員の齊藤斗志二会長へと引き継がれました。

平成20年に体育指導委員を退任してからは、府理事及び西京区幹事長を川邊さんに引き継ぎ、地元の体育振興会の会長をしています。地域からスポーツ推進委員を推薦する立場ですが、現任のスポーツ推進委員の中で話し合ってもらい、退任されるスポーツ推進委員さんには次の方を紹介してもらった後、会長から依頼するようにして、理解のある方を推薦するようになっています。

京都市では、スポーツ推進委員として新しいことをやっというと思って難しい面があります。市、区に体育振興会連合会、学区に体育振興会の組織があり、地域のスポーツ活動を統括しています。スポーツ推進委員はその活動を支え、運営や審判をお願いすることになります。本来なら、事業の企画立案から携わって行かなければならないのですが、そうなってはいません。しかしながら、スポーツ推進委員が中心になってグラウンドゴルフ、ペタンク、ソフトバレーボールの全市規模の大会を開催できるようにはなりました。

スポーツ推進委員の職務の本質は、大規模の大会や学区民運動会等を運営するだけでなく、国、府、市各レベルでも「成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率を3人に2人にする。」目標が掲げられているように、日常生活でいかにスポーツに親しむ人を増やしていくかを考え、実践しなければなりません。地域ではいろんなスポーツクラブや少年スポーツクラブがあって、個人的にジョギングやランニングをする多くの人が出て、老若男女がスポーツを楽しんでいます。そして、施設利用の調整をしたり世話をする人を増やし、支えるスポーツを実践することがスポーツ推進委員の任務だと思っています。もちろん、地元の体育振興会会長として地域のスポーツ振興に今後とも尽力していきたいと思っています。

本日は、時間を取っていただきありがとうございました。府の役員の皆様によりしくお伝えください。

京都府スポーツ推進委員協議各規約、規程、規定

京都府スポーツ推進委員協議会規約

第1条 (名 称)

本会は、京都府スポーツ推進委員協議会と称し、事務局を京都府教育庁指導部保健体育課に置く。

第2条 (目 的)

本会は、京都府内のスポーツ推進委員相互の連絡を密にし、相協力して生涯スポーツの推進を図り、スポーツ推進委員本来の使命を達成することを目的とする。

第3条 (組 織)

本会は、京都府内における、スポーツ基本法第32条に相当する職務を遂行する者（以下「スポーツ推進委員」という。）をもって組織する。

第4条 (構 成)

本会は、京都市及び各教育局（以下「ブロック」という。）単位に結成されたスポーツ推進委員の連絡組織をもって構成する。

第5条 (事 業)

本会は、第2条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) スポーツ推進委員の資質の向上に関する研修会・講習会・協議会等の開催
- (2) スポーツ教室・スポーツテストその他地域スポーツの振興に関する事業
- (3) 生涯スポーツの振興のための関係機関との連絡調整及びこれらに対する要望
- (4) その他本会の目的を達成するために必要な事業

第6条 (役 員)

本会に次の役員をおく。

- (1) 会長1名、副会長3名、理事長1名、常任理事4名、理事若干名、監事1名、会計1名、役員の任期は2ヶ年とし、スポーツ推進委員としての在任期間とする。
但し、再任は妨げない。
- (2) 会長、副会長は理事会において互選する。
- (3) 理事は、スポーツ推進委員の中から、別表1に定める数に従って各ブロックにおいて選出し、また、第9条に定める委員会の代表をもって充てる。
- (4) 理事のうちから会長、副会長を選出したときは、当該理事を選出した前項のブロックから別に理事を選出する。
- (5) 常任理事、監事は、会長が理事の中から理事会の承認を得て任命する。
- (6) 理事長は、京都府教育庁指導部保健体育課担当副課長の職にある者を、会計は、京都府教育庁指導部保健体育課同担当者のうちから、会長が理事会の承認を得て委嘱する。
- (7) 会長は、本会を代表して会務を統轄する。
- (8) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあったとき、その職務を代行する。
- (9) 常任理事は、会長及び副会長を補佐し、本会の会務を掌理する。
- (10) 理事長は、本会の事務を統括し、処理する。
- (11) 理事は、ブロック及び委員会を代表するものとする。
- (12) 監事は、本会の会計を監査する。
- (13) 会計は、本会の経理を行う。

第7条 (顧 問)

- (1) この会に顧問を置くことができる。
- (2) 顧問は、理事会の議決に基づき、会長が委嘱する。

第8条（会 議）

- (1) 本会の会議は、理事会及び常任理事会とする。
会議は、会長が招集する。
- (2) 理事会は、理事の2分の1以上（委任状を含む）の出席がなければ、開会することができない。
- (3) 理事会の議決は、出席理事の3分の2以上をもって行う。
- (4) 常任理事会は、会長、副会長、理事長及び常任理事をもって構成し、理事会に附議すべき事項及び理事会において委託された事項を処理する。

第9条（各種委員会）

- (1) 本会には、事業遂行上必要と認めた場合、各種委員会を置くことができる。
- (2) 委員会の名称、事務及び組織は理事会の議決を経て会長が定める。

第10条（会 計）

- (1) 本会の会計年度は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
- (2) 本会の経費は負担金及び補助金その他の収入をもってこれを支弁する。

第11条（規約改正）

この規約の改廃については、理事会において理事総数の3分の2以上（委任状を含む）の多数の議決を経て行う。

別表1

ブロック	京都市	乙訓局	山城局	南丹局	中丹局	丹後局	計
理事数	11名	1名	3名	3名	2名	2名	22名

附 則

この規約は、昭和52年2月23日から施行する。

- 平成 2年3月14日 一部改正
- 平成 2年5月23日 一部改正
- 平成 8年5月23日 一部改正
- 平成15年5月21日 一部改正
- 平成16年3月 4日 一部改正
- 平成20年5月12日 一部改正
- 平成22年3月19日 一部改正
- 平成24年3月13日 一部改正

女性委員会規程

第1条（名称）

京都府スポーツ推進委員協議会規約第9条の規定に基づき、女性委員会（以下「委員会」という。）を設ける。

第2条（目的）

本委員会は、女性スポーツ推進委員の活動推進に関する事項について審議し、処理することを目的とする。

第3条（組織）

本委員会は、各ブロックから選出された女性スポーツ推進委員をもって組織する。

第4条（役員）

本委員会に次の役員をおく。役員任期は2ヶ年とし、スポーツ推進委員としての在任期間とする。

但し、再任は妨げない。

- (1) 委員長 1名
- (2) 副委員長 若干名
- (3) 委員長及び副委員長は、委員会において互選する。

- (4) 委員長は、委員会を代表し、委員会の会務を掌理する。
- (5) 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故のあったとき、その職務を代行する。

第5条（会議）

- (1) 本委員会は、随時これを開催するものとし、委員長が招集し、その議長となる。
- (2) 委員会は、委員の2分の1以上（委任状を含む）の出席がなければ、開会することができない。

附 則

この規程は平成15年5月21日から施行する。

平成24年3月13日 一部改正

京都府スポーツ推進委員協議会表彰規定

昭和50年4月23日 理事会決定

昭和54年6月9日 一部改正

平成24年5月10日 一部改正

第1条 本協議会が表彰を行う場合は、この規定に定めるところによる。

第2条 この表彰は、長年にわたりスポーツ推進委員又は社会体育指導委員として、その属する地域の生涯スポーツの推進に精励し、功績のあったものに表彰状等を授与して行うものとする。

第3条 各地域のスポーツ推進委員協議会会長は、前条に該当すると認められるものがあるときは、被表彰者の推薦書を作成して会長に提出するものとする。

第4条 会長は、前条により推薦された被表彰者につき選考委員会にはかり、被表彰者を決定する。

2 選考委員会は、理事会をもってこれに充てる。

第5条 被表彰者に対しては、毎年スポーツ推進委員研究大会の際に会長が表彰するものとする。

京都府スポーツ推進委員功労者表彰基準

- 1 原則として10年以上にわたりスポーツ推進委員として地域の生涯スポーツの推進に精励したもの。
- 2 過去に京都府スポーツ推進委員功労者の表彰を受けたものは除く。

平成24・25年度京都府スポーツ推進委員協議会役員

役職名	選出ブロック等	氏名	所属	
会長	山城	森本 豊	精華町	
副会長	京都市	藤井 博志	北区	
		小川原 繁	下京区	
常任理事	南丹	齊藤 昌久	南丹市	
	女性委員長	高月 裕子	久御山町	
	乙訓	林 秀行	長岡京市	
	中丹	入江 一郎	福知山市	
監事	京都市	丹後	吉岡 毅	京丹後市
		安藤 美佐子	東山区	
理事	京都市	藤本 登志子	北区	
		小嶋 公子	上京区	
		福原 隆平	左京区	
		中嶋 丈介	中京区	
		原島 源一	山科区	
		吉田 享司	下京区	
		福井 和代	南区	
		安嶋 一晃	右京区	
		川邊 昌伸	西京区	
	吉田 昌功	伏見区		
	山城	木佐一 憲治	城陽市	
		木下 静子	京田辺市	
		尾崎 田鶴	木津川市	
	南丹	西村 禮子	亀岡市	
		徳田 利春	南丹市	
		津田 勝二	京丹波町	
	中丹	村川 正弘	舞鶴市	
	丹後	松岡 照幸	宮津市	
理事長	府事務局 (教育庁指導部 保健体育課)	川村 隆史	スポーツ振興担当副課長	
会計		高山 康彦	スポーツ振興担当指導主事	

女性委員会

役職名	選出ブロック等	氏名	所属
委員長	山城	高月 裕子	久御山町
副委員長	南丹	西村 禮子	亀岡市
委員	京都市	藤本 登志子	北区
	乙訓	瀬川 克美	長岡京市
	中丹	西村 あおい	舞鶴市
	丹後	森田 美砂子	宮津市

平成24年度京都府スポーツ推進委員名簿

京都市アロック(582名)

(北区)

藤井 博志
 渡邊 清
 幅田 町子
 柴垣 美香
 今村 信夫
 山本 幸信
 藤井 圭子
 阪本 眞由美
 谷内 輝美
 森田 透
 林 武志
 滝口 美津子
 太田 徳夫
 宮本 小夜子
 板谷 光芳
 松苗 和孝
 佐藤 喜美子
 岡本 日吉
 稲田 好造
 稲田 美和子
 庄村 浩一
 西村 久男
 橋場 明美
 中野 康正
 井上 隆治
 北井 輝美
 迫田 雅代
 家村 正子
 岸本 邦夫
 後藤 光
 坂口 昇
 藤本 登志子
 大達 洋平
 野田 さとみ
 森本 明美
 辻 邦夫
 千田 寧英
 樋口 敏夫
 澤田 佳嗣
 久保 貴裕
 牧野 正俊
 金森 美枝
 坂下 久美子
 藤井 豊
(上京区)
 大石 宜男
 極並 義明
 上下 まき子

加藤 豊
 高橋 政子
 川口 幹子
 井上 輝雄
 杉浦 達也
 本多 宏次
 岡本 智恵子
 山崎 喜久夫
 小嶋 公子
 村田 一雄
 濱田 由晴
 岡田 みどり
 高木 保豪
 森 知史
 鈴木 峰子
 鈴木 容子
 鈴木 とみ枝
 井上 義彦
 田中 久美子
 中村 民子
 井田 裕之
 高岡 恵美子
 森 石己
 三上 洋正
 田中 義仁
 長谷川 春雄
 二井 本澄代
 山田 喜久雄
 栃下 幸枝
 檀野 美夕紀
 小田 浩史
 磯川 博史
 松永 正彦
 世木 雅啓
 野田 佳宏
 伊藤 栄男
(左京区)
 井上 宗之
 野村 幸子
 天野 静
 山崎 政美
 蘆田 明子
 丸山 文子
 秋本 正則
 津守 和子
 藤森 幸一郎
 木村 富美恵
 近野 隆夫
 坂岡 千文
 大林 光市

栗津 友幸
 島津 幸夫
 高橋 清和
 田中 敦子
 藤井 正一
 畦崎 輝義
 辻 弘子
 岸根 喜三郎
 藤原 宏志
 井上 保
 浅田 修司
 中本 通雄
 福原 隆平
 西田 恒治
 浅野 貴子
 安田 洋美
 村地 愛子
 浜本 康夫
 吉田 寿美
 西田 順一
 三宅 紀一
 竹内 一
 細井 佳代
 塩田 聡一
 沢田 英子
 藤 洋一
 久富 麻実子
 大塚 晴久
 清水 正明
 永岡 弥生
 田辺 武
 北川 初江
 斎藤 穰
 小倉 肇
 小澤 珠美恵
 安保 洋一
 行天 由江
 西脇 正博
 滝上 博
 寺田 君子
 野中 和男
 杉原 圭一
 森田 俊一
 粉川 喜和
 辻 順子
 日比 淳一
 藤井 尚司
 上門 尚美
 深瀬 悟
 渡邊 琢之

杉本 勝
 森口 幸夫
 藤井 則秋
 堀 治樹
 西村 佳久
 新谷 久利
 吉田 亨
 中坊 市次郎
 大江 吉男
(中京区)
 木村 貞子
 沖野 晃次
 木村 直正
 小田 繁雄
 竹岡 陽一
 伊藤 裕子
 横内 久美子
 奥村 ゆかり
 田中 健志
 清水 勇亮
 中嶋 基樹
 中嶋 丈介
 猪田 俊司
 田中 茂弘
 樺井 久美子
 國枝 ゆう子
 熊谷 直紀
 矢瀧 誠
 澤村 祐三子
 西村 勝嘉
 堀 明美
 北村 憲司
 木村 真一
 和多田 善夫
 松田 研司
 岡本 喜雅
 中澤 成祥
 呉 尚己
 齊藤 照美
 岩堀 耕二
 塩見 公朗
 長谷川 久紹
 青山 周史
 山下 勝代
 山田 乙博
 辻 伸夫
 真島 建司
 井上 靖
 文字 卓矢
 大橋 一男

松平 則子
 吉田 忠之
 出口 順子
 吉田 祐司
 石川 保生
 北川 こま
 玉井 和代
 竹内 健治
 高木 和一
 鳴海 秀典
 森 正幸
(東山区)
 仙石 寿博
 忠地 栄守
 山内 真矛
 井上 勢一
 太田 伸子
 原田 道昭
 井尻 勝也
 富吉 則文
 前出 暢久
 五領田 寿義
 大上 敏夫
 菊地 秋雄
 小森 敦子
 村田 久美子
 清水 達也
 佐藤 由紀子
 木村 清信
 廣瀬 敏彦
 澤田 淑子
 桐生 率子
 川口 木ノ実
 中野 洋一
 安藤 美佐子
 中山 亨
(山科区)
 金澤 正和
 熊木 美香子
 平子 徳明
 荒木 裕吏
 角 明美
 梶山 功
 早崎 守
 宮原 真弓
 河内 康彦
 松井 裕人
 石橋 知永子
 原島 源一
 溝井 和広

梶村 喜美江	棚部 智行	田中 美知乃	谷脇 昌子	近藤 和雄
服部 智子	勝岡 英雄	園 美津雄	安井 徹也	戸崎 悦子
宮田 令子	浅田 英子	柿本 祐子	松山 伸次	永納 正士
西垣 信夫	堀田 須美雄	藤井 則芳	本田 範子	松本 治行
橋本 満枝	藤谷 芳史	橋爪 靖典	中田 瑞帆	嶋先 久美子
岩谷 千種	平栗 文隆	福井 和代	松尾 喜美子	藤原 幸弘
楠瀬 昭彦	加藤 武	谷尻 充	上條 昇	本谷 よし枝
中江 秀治	今宿 聖一	水野 久	吉田 宗弘	山口 義夫
谷村 美紀子	南部 武	小澤 峰子	上坂 敏幸	中村 三差子
柳田 京子	澤田 義広	柴田 敏夫	今井 英貴	綿引 正子
三宅 和宏	新家 博文	向井 弘二	岩谷 泉	古賀 学
丹羽 清子	若林 作	田辺 導義	安嶋 一晃	西田 良雄
永井 孝明	石通 裕司	西 晃子	松見 洋子	齊藤 利子
三宅 孝子	小川原 繁	那須 勉	西谷 武司	十念 和広
中村 明	丹治 潔	石原 祐子	山口 康雄	杉山 康夫
長谷川 伸介	土橋 宏一	田中 さゆり	宮本 浩明	鹿島 範之
大機 恭子	村井 伸也	砂原 啓二	畑 かおる	若林 紀子
伊東 律子	青山 均	作岡 秀統	原田 美千子	徳光 藤子
廣島 康正	岸岡 きくみ	藤井 正行	板倉 克夫	佐藤 哲夫
石川 正吉	廣川 直也	西森 敏子	日高 一郎	松川 信夫
山本 昌代	高澤 朗	(右京区)	清水 美由紀	中村 ツヤ子
徳田 悦子	河村 英樹	森下 裕次	前田 倫男	林 ちか子
長谷川 種子	堀 智貴	海老瀬 克典	吉川 智恵子	佐藤 豊美
萩原 浩司	吉野 正康	吉田 紀美子	藤原 正典	矢野 幸子
粉川 敏彦	柴田 賢二	安田 ゆかり	坂井 保	西尾 静
和田 孝雄	角居 一美	山田 美樹	横田 昌樹	山盛 智光
高田 弘幸	石原 久美子	水野 睦子	光石 正裕	野木 あゆ美
虫明 洋子	中川 裕子	村山 紀美	小屋 正勝	湯浅 康博
井上 浩子	丸矢 豊	三宅 博幸	清水 逸夫	梅澤 正昭
佐賀 明美	廣岡 健	中村 英之	井上 雅博	水落 愛子
熊谷 元雄	吉田 享司	宮川 浩子	柳坂 禎輔	前渊 美佐子
青山 佳広	吉浪 勇	福田 泰子	新川 和子	大西 庸夫
泉谷 典子	越村 聡	上川 直哉	日比野 定仁	山名 香奈恵
和田 久仁夫	(南区)	石田 修一郎	石田 和男	中村 公彦
宇田 ゆき江	湊 弘明	稲尾 潤子	山田 純子	中田 雅裕
大和 富夫	中路 雅之	内海 玲子	白石 和枝	福本 好久
(下京区)	中村 正樹	山下 泰裕	中路 一二三	高垣 由紀子
山本 信哉	相浦 啓幸	吉岡 高幸	浅井 健一	渡辺 孝士
関口 正二	服部 正	福田 恵己子	山川 美乃	山口 繁
樋口 唯志	谷口 眞美江	小阪 正江	宮田 雅子	原田 安子
横山 浩二	田村 多希子	花房 英和	長藤 正道	菌部 和栄
丈達 朗	清水 千恵美	倉内 秀樹	田河 達至	小川 誠一
若井 嘉浩	福田 好美	高木 節子	田中 公子	田中 義也
向井 永	渡邊 眞志	岩井 とも子	大田 明美	邑田 朱実
林 宏美	椋田 隆知	西田 英弘	村田 隆也	小林 隆博
西村 孝司	花田 寿子	饗場 くに子	木村 晃之	稻垣 敦
寺崎 敏明	古川 寛	高屋 雅由	上村 美千代	山下 美加
飛 信明	中谷 照美	鈴木 里穂	増田 久美子	清水 昌子
布廣 敬一郎	木村 雅喜	谷脇 博之	(西京区)	若林 良二
平岩 進	横田 吉彦	大嶋 千鶴子	川邊 昌伸	川田 秀雄

久米川 能久
谷口 みゑ子
藤本 圭子
田中 ヒトミ
伊澤 尚美
田畑 麗子
松下 誠
村上 良弘
能勢 雅代
片岸 光史
(伏見区)
岡谷 陽子
玉岩 英男
山岸 正和
達富 寿代
北村 良一
山口 秀和
郡川 鶴代
小野田 勝之
由田 周治
野間 美佐緒
山田 加代子
鈴木 誠一
東中 香
竹口 進
藤原 誠二
辻 孝司
北川 博巳
吉見 乃里子
田中 久子
森川 龍二
新井田 紀夫
長屋 始津枝
辻本 悦子
小林 芳弘
村田 俊明
高木 清之
有川 教子
安藤 大宝
三隅 勝秀
西田 伸央
江口 嘉行
木村 由美子
河野 藤男
藤方 静代
尾向 孝司
澤田 伸子
齒朶山 敏男
高木 平之
田中 悦子

河本 光子
岡田 光則
山元 吉明
西橋 絹子
花野 正英
永渕 富士男
永渕 亜矢子
堂田 真智子
稗田 才徳
明神 義弘
月城 漢太
有吉 文
中嶋 了子
藤田 剛
鈴木 嘉之
大戸 茂且
森 秀樹
山田 三郎
山口 佐智子
瀬戸 清
山田 紀子
渡辺 央
田口 洋一
松尾 孝子
鈴木 裕
住江 正久
岡村 正一
山本 里美
西村 信孝
市村 喜紀
今川 勝義
塚本 敏恵
小林 学
長野 隆志
仲村 裕子
森 政幸
木村 亜衣子
渋谷 三男
中村 美枝子
西田 良治
白柏 廣一
南 周作
吉田 昌功
湊 和彦
乙訓ブロック(39名)
(向日市)
田賀 千恵
梅田 一美
岩木 治
五十棲 妙子

土井 哲夫
高木 安紀子
長谷川 忠司
森 泰代
井手 規雄
生嶋 智
池田 和子
高野 嘉文
(長岡京市)
林 秀行
結城 正典
上杉 秀之
谷口 了
瀬川 克美
澤 秀一
亀山 由佳
芹田 正司
山本 陽子
鈴木 勉
林 敏恵
本西 幹生
藤本 由美
黒柳 八千代
藤嶋 明子
(大山崎町)
坂本 桂一
森 邦子
小島 弘美
田中 礼子
河原崎 清隆
津田 定豊
谷 敏郎
渡辺 幸治
駒池 英二
白敷 賢祐
川口 順平
川口 智裕
山城ブロック(212名)
(宇治市)
青木 圭
内田 徹
江口 昭典
岡田 久美子
北村 伸之
喜田 泰司
木村 亮太
栗田 洋平
坂井 範子
坂本 京子
佐藤 礼子

佐原 敏
澤崎 好二
杉本 和也
鈴木 とし恵
関口 雅敏
滝川 康高
竹之内 剛
田中 恵美子
田中 成司
田中 豊
辻本 由美子
中川 悦子
中澤 敬治
中村 彰
鍋谷 智恵子
西山 武男
畑 鈴峰
福井 繁隆
馬淵 佳津子
宮脇 勉
向井 義孝
村瀬 豊徳
門田 俊明
矢野 勝己
善積 大吾
(城陽市)
石田 良一
松田 昌己
黒田 行雄
新谷 佳子
木佐一 憲治
久留米 正子
門司 耕寛
中川 弘一
中嶋 昭夫
中井 薫
大尾 幸司
今岡 晃大
上野山 英雄
岸浦 拓児
笹嶋 道子
田中 守
松本 徹也
田村 秀一
松下 信介
須崎 貞子
谷口 富士夫
高橋 裕幸
新井 朗
茂野 彰

岡崎 千鶴
(八幡市)
佐野 恵理子
山口 修平
鷹野 明子
柴田 由香里
津野 法子
千葉 昌尚
堤 博美
梶浦 純美代
中村 政夫
高津佐 美樹
北村 治美
松原 岳生
定本 由紀
川戸 辰也
三宅 智久
清川 悦郎
宮川 千明
山本 健次
池 一栄
松田 和代
今井 美千江
大黒 綾
市村 誠
山本 章史
(京田辺市)
木下 静子
山中 宏夫
細田 貴子
姫路 桂子
高橋 仁美
高橋 悦子
吉村 幸子
竹内 友子
田中 久代
伊家 京子
高岡 三樹子
餘語 二郎
戸邊 智子
楠木 規与志
山岡 さおり
(木津川市)
尾崎 田鶴
河口 宏
木村 勝
石本 将隆
戸嶋 尚子
堀 久美子
波尻 寛之

大倉 竹次
藤原 千鶴子
亀井 順子
小西 彰
光橋 通信
吉形 和子
杉田 賢知
徳山 昌伸
宮川 慶子
青井 栄子
高橋 和子
松原 稔
永野 彰
駒 雅文
末松 千佳
森川 恭美
染井 洋子
新田 浩
早川 幸子
谷川 博則
(久御山町)
大宮 竹志
高月 裕子
大西 忠彦
田口 賀彦
小寺 道夫
村田 吉基
中瀬 由香里
奥野 隆信
中務 眞二
松本 茂樹
井上 直美
稲内 敬時
橋立 陽子
(井手町)
栗田 善嗣
古川 幸子
中田 邦和
古川 裕計
村田 忠文
田中 保美
岩城 喜和
横田 純一
相川 尚美
八木 真知子
寺村 勝彦
西島 寛道
清水 敏継
(宇治田原町)
栢木 喜文

橋本 久美
竹尻 伸弘
松本 和三四郎
坪内 健二
片山 忠一
伊藤 加代子
岩瀬 多佳子
安中 亮二
今西 泰子
玉置 小百合
勝谷 健士
谷口 知美
矢野 幸次
大江 順
(精華町)
森本 豊
杉嶋 秀美
中川 清史
西岡 幸子
尾崎 洋子
堀口 紀代美
園田 和之
吉村 安弘
奥村 康仁
渡辺 さわ子
有本 麗子
武元 敬子
橋爪 町子
板原 淳子
伊藤 和子
(相楽東部広域連合)
濱 忠志
藤田 好子
高岡 勇
東中 卓代
岩崎 久敏
竹谷 保廣
東 隆
谷本 昌隆
大西 巧
前出 陽子
渡邊 俊明
西田 祥史
田中 啓太
岩崎 慎也
林 嘉人
平田 慎子
木野 正男
井尾 幸
辻田 修作

奥谷 善巳
内藤 芳男
乾 隆志
廣尾 操
岩崎 貴代美
稲置 浩之
岸田 啓介
野川 昌英
北本 勝実
木村 宣
南丹ブロック(90名)
(亀岡市)
宇佐美 年樹子
山口 浩和
上久保 悦子
梅原 啓三
西脇 隆雄
浅田 美佐保
木村 和子
農添 光陽
長澤 靖史
並河 芳昭
大倉 直也
川勝 洋太
美馬 宏通
柳原 邦弘
森中 多香子
早田 陽祐
奥野 正三
中山 晃人
柿谷 正幸
中川 重昭
三宅 泰宏
稲本 理恵子
松永 枝美子
永田 孝次
平井 和夫
佐々木 由紀子
長尾 淳子
村上 寿也
末吉 昭弘
蔭山 浩裕
山口 陽弘
有山 佳代
関 彰
大西 登
竹原 将司
藤田 浩克
福田 明美
斎藤 嘉徳

阿田 眞浩
北中 紀代子
栗林 亨
荒美 大作
山内 知行
大田 実男
宮本 明彦
西村 禮子
高田 登紀子
中城 浩
林家 利憲
坪井 則子
(南丹市)
徳田 利春
齊藤 昌久
山田 洋三
湯浅 みさを
奥村 梨恵子
石田 武司
下司 富美子
中川 敦雄
谷 正幸
中村 公治
名古 明美
吉田 靖
磯部 源三郎
坂本 勇
西垣 真史
高屋 禎子
矢野 憲仁
石橋 一平
北尾 繁次
横田 智顕
関 由佳
井上 勝之
手島 康子
中嶋 竜一
澁谷 明拓
(京丹波町)
津田 勝二
片田 泰和
坂本 貴之
東 清子
永井 千鶴
田中 敏夫
西垣 正則
瀬戸 豪
田端 敏子
西田 和志
猪阪 身和

山下 貴典
前谷 浩之
中川 和也
中村 幸子
中丹ブロック(65名)
(綾部市)
阿部 美鈴
岩田 昭
岩見 みのり
上原 あゆみ
馬田 賢二
大島 寿己
大島 みどり
片山 睦美
滝下 香代子
田中 奈穂美
広瀬 美穂
保坂 朋宏
本郷 実
村上 元良
山中 史香
吉岡 岳史
渡辺 弘造
(福知山市)
新井 知子
井関 雅子
井上 智行
入江 一郎
岩尾 義治
柏 一男
片山 琢哉
桐村 敬介
洪山 洋子
杉田 恵理
高橋 千寿子
田中 眞
寺川 慎治
中村 善昭
並河 朋子
西田 智彦
浜野 潤
堀 浩子
真下 真寿美
村松 豊
夜久 眞由美
横川 章
(舞鶴市)
池嶋 佑太
上野 美和
梅本 徳夫

奥田 智美
河田 雅徳
岸本 浩
坂根 伸治
佐々木 誠一郎
柴田 知美
白田 誠
高田 邦子
田中 美奈子
田邊 良夫
鉄尾 隆
出立 敬三
内藤 正嗣
中島 正夫
名村 史枝
西村 あおい
日高 康
藤村 保夫
藤原 忠夫
堀江 智美
村尾 邦夫
村川 正弘
森川 靖彦

丹後ブロック(103名)
(宮津市)

松岡 照幸
小室 恵美子
森田 美砂子
小川 温代
田中 誠一
堀江 紀子
橋田 恵美子
森下 壽子
後藤 好美
牧野 圭志

(京丹後市)

近藤 浩司
田村 浩章
松本 とし子
菅生 祥子
番場 玉恵
多賀野 一彦
日下部 修
中山 晶夫
中西 保文
吉田 雄治
堀 育夫
田中 源一郎
小谷 洋子
田崎 仁志

堀 加代子
稲本 美智子
石橋 益代
石岡 則弘
西馬 靖久
吉岡 毅
吉岡 和子
田茂井 里美
倉橋 成光
稲岡 錠二
今井 たま美
山本 朋子
井上 雅之
松本 敏幸
松村 吉洋
坪倉 京子
蒲田 繁廣
松本 健二
戸根 早苗
道家 敏美
奥田 晋子
秋尾 豊
谷口 美樹男

小平 倫大
三宅 忠嗣
西井 啓輔
横島 博文
森野 和仁
平林 史考
吉岡 宣彦
今度 ゆかり
藤原 重光
由良 清美
島貫 雄介
松山 正
梅本 稔博
藤原 久美子
井上 香
森垣 洋平
岡田 啓介
田中屋敷 和之
中川 昌樹
田中 利弘
(伊根町)
石倉 直道
横川 純
宇治 幸嘉
三野 成彦
三野 牧人
永濱 恵介

下垣 友明
(与謝野町)
森下 完二
西原 成
西馬 紀代美
坂中 喜代美
足立 徹生
市田 憲一
三井 則子
起須 淳子
大垣 忠博
葉賀 和美
奥仲 輝雄
山崎 愛次郎
和田 正
土井 豊
小長谷 恵子
本城 智鶴
廣野 美穂
井上 登喜枝
友次 敦美
長島 弘晃
山添 三知生
増井 洋
井上 敦至
大江 葉子
坂根 裕美
須川 和美
糸井 宏輔
井上 義博
竹原 七緒
(計1,091名、敬称略)